

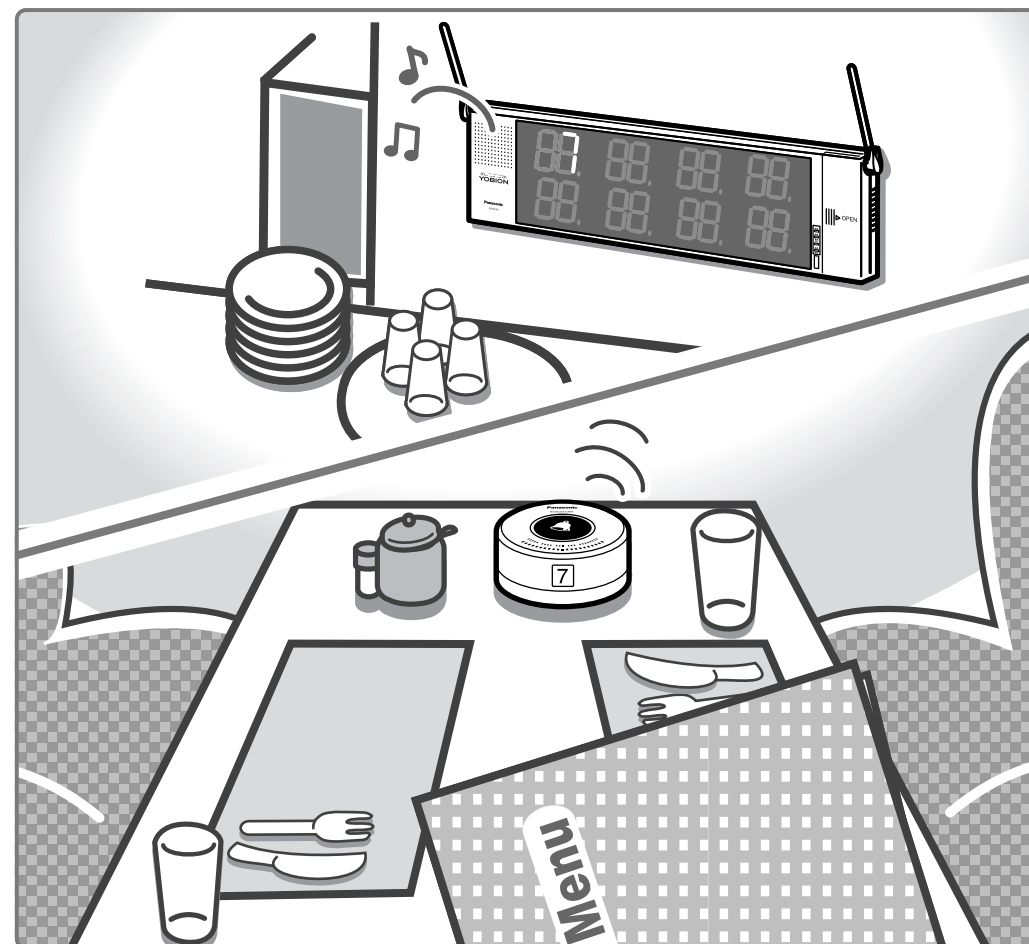
(((ワイヤレスサービスコール)))
YOBION

小電力型ワイヤレス
サービスコール (マルチタイプ)

保証書別添付

施工説明書別添付

- このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」(1ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。



愛情点検

長年ご使用のサービスコール受信器の点検を!



こんな症状
はありませんか

- 電源を入れても動かないことがある。
- こげくさい臭いや異常な音、振動がする。
- その他の異常や故障がある。

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故防止のため、電源スイッチを「切」側にし、電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

パナソニック株式会社 システム機器ビジネスユニット

〒514-8555 三重県津市藤方1668番地

電話 ☎ 0120-283338 FAX ☎ 0120-551626

© Panasonic Corporation 2012

8A2 A70 00004 K0903-30112Mj

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を区分して、説明しています。

	警告 「死亡や重症を負うおそれがある内容」です。
	注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です。)

	してはいけない内容です。		実行しなければならない内容です。
---	--------------	---	------------------

■受信器

警告	
	絶対に分解したり、修理・改造しない。 感電の原因となります。
分解禁止	

■受信器に電源コードを使用する場合

警告		
		
ぬれ手禁止	禁止	電源プラグを抜く
電源プラグをぬれた手で抜き差ししない。 感電の原因となります。	電源コードは、引っ張ったり、たばねて使用しない。 発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因となります。	万一、異常が発生したら電源プラグを抜く。 抜かないと、発熱、発火の原因となります。

注意	
	電源プラグは、定期的に点検を行い、乾いた布などでホコリを取り除く。 必ず守る プラグ部分にホコリがたまり、湿気が加わると、発火・焼損の原因となります。

■発信器・集中発信器・集中操作器・集中消去器

注意	
	新しい乾電池と古い乾電池を混ぜての使用はしない。 乾電池の破裂や液もれの原因となります。
	壁面に取り付ける場合は、取り付ける壁面の厚み・材質に注意して、確実に固定する。 必ず守る 固定に不備があると落下によるけがの原因となります。

もくじ

<ご使用の前に>

安全上のご注意	1
ご注意	3~4
システム図	5
使いかたの流れ(例)	6
各部のなまえとはたらき	7~20

<準備>

周波数チャンネルを確認する	22
2段表示で使う場合	23
乾電池を入れる	24~26
発信器にシールを貼る	27

<基本編>

基本編のあらまし	30
登録	
各発信器を番号呼出用に登録する	31~32
各発信器を番号呼出用に登録する(2段表示)	33~34
集中操作器を番号呼出用に登録する	35
登録を消去する	36~37
使いかた	
発信器で呼び出す	38
受信器に番号が表示される	39~40
受信器の番号表示を消去する	41~45
報知音/消去音を変更する	46
音量を変更する	47
表示窓の明るさを変更する	48
電池切れの発信器を調べる	49

<応用編>

応用編のあらまし	51~52
登録	
熱線センサー発信器を来客報知用に登録する	53
発信器を優先呼出用に登録する	54
発信器を優先呼出消去用に登録する	55
発信器を呼出順消去用に登録する	56
集中操作器を遠隔操作用に登録する	57
スリー発信器を遠隔操作用に登録する	58
発信器を遠隔操作用に登録する	59
使いかた	
来客を報知する	60~61
優先呼出表示について	62
副表示器について	63

<機能設定>

機能設定(全段表示)	65~70
機能設定(2段表示)	71~76
仕様	77~81
保証とアフターサービス	82

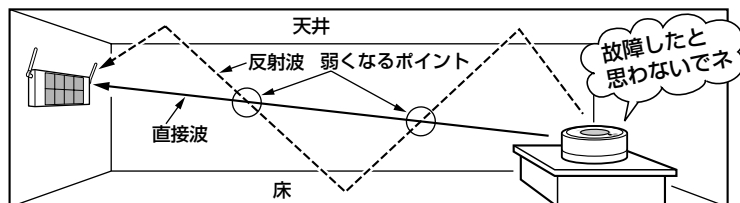
で注意

設置場所に関するご注意

- 受信器のアンテナは壁面から約30°かたむけて使用してください。電波を受信しやすくなります。
- 「受信器と発信器、集中発信器、集中消去器、集中操作器、および中継器」または「ワイヤレス用アンテナと発信器、集中発信器、集中消去器、集中操作器、および中継器」の電波の到達距離は、障害物のない場所での水平見通し距離約100mです。また、「中継器と発信器、集中発信器、集中消去器、および集中操作器」の電波の到達距離は、障害物のない場所での水平見通し距離約40mです。（周囲環境により異なります。）
〔電波が届きにくい場合は、中継器またはワイヤレス用アンテナをご使用になり、動作を確認してください。〕
- 下記のような使用環境では、電波（ノイズ）を受けたり電波の到達距離が短くなります。このような場合は動作しないことがありますので注意してください。

- 機器間に金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障壁がある。
- 機器間にある壁面内の断熱材にアルミ箔を貼り付けたグラスウールを使用している。
- 機器の周辺が金属物で囲まれている。
（スチールキャビネットの間、カラオケボックスなど）
- 金属物の壁面や机などに機器を取り付けている。
- 操作する人の体の向きで電波を遮っている。
- 電子レンジやパソコンなどの家電商品やOA機器が機器の2m以内にある。
- 機器の近くで、直流電圧で駆動するベルやモーターなどの機器が動作している。
- 機器の近くで、携帯電話やPHS電話を使用している。
- 機器の近く（10m以内）で、マイクロ波治療器を使用している。
- 近くに、テレビ・ラジオの送信所近辺の強電界地域または各種無線局がある。

- 到達範囲内でも電波が弱くなるポイントがありますので注意してください。



- 設置場所ではあらかじめ動作確認を行ってください。設置後、使用環境（電波環境）が変わることがありますので、定期的に動作確認を行ってください。

受信表示灯の便利な使い方

発信器を操作していないのに、受信器の受信表示灯が赤色点灯・点滅する場合は、近くにある家電商品やパソコンなどのOA機器からの電波（ノイズ）を受けているか、もしくはトランシーバーや当社および他社の無線商品など、特定小電力無線設備が使用されている可能性があります。このような場合は周波数チャンネルを変更して受信表示灯が点灯・点滅しないようにしてください。

使用上のご注意

- 故障、破損または動作しない原因となりますので、必ずお守りください。

- 受信器は、予備電源（バッテリー）を内蔵していませんので、停電の場合、電波が受信できず動作しません。
- 雨のかかる場所や浴室などの湿度の高い場所で使わないでください。
- 水をかけないでください。
- 炊飯器など湯気の出る物を近くに置かないでください。
- ストーブなどの高温の物に近づけないでください。
- 落としたりしないでください。
- テレビ、ラジオは、2m以上離してください。
映像や音声が乱れる場合があります。

- 同じ周波数チャンネルであれば、1台の発信器、集中発信器、集中消去器、および集中操作器で受信器は何台でも同時に使用することができます。
- 2台以上の発信器、集中発信器、集中消去器、および集中操作器から同時に電波が送信されると、受信器は動作しないことがあります。故障ではありません。
- 送信電波が医用電気機器に与える影響はきわめて少ないものですが、安全管理のため発信器、集中発信器、集中消去器、および集中操作器は医用電気機器から20cm以上離して使用してください。

乾電池の寿命

- 次のような状態になった発信器の乾電池を2本とも新しい乾電池と交換してください。

- 集中発信器、集中消去器、および集中操作器の送信灯が赤色点灯しない。
- 受信器に電池切れが近い発信器として番号が表示される。
受信器には「電池切れ発信器の表示機能」があります。▶ 49ページ

乾電池寿命

発 信 器：単4形乾電池×2本
1日40回の使用で約1年（マンガン乾電池使用時）
集中発信器、集中消去器、集中操作器：単3形乾電池×2本
1日300回の使用で約1年（アルカリ乾電池使用時）

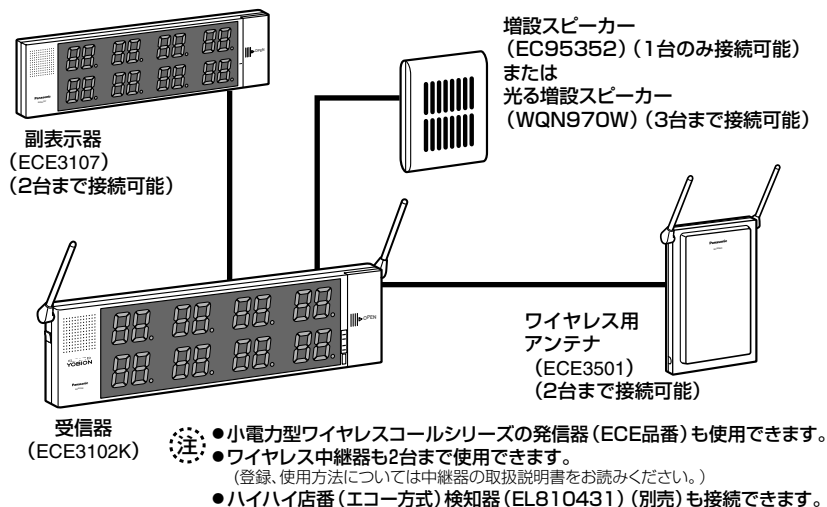
お手入れについて

- ふだんのおそうじは、やわらかい布でふき取ってください。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を薄めた液に、やわらかい布を浸し、固く絞ってふき取ってください。
（※噴霧式の洗剤は使用しないでください。）



- ※ ベンジンなどは引火性があるため、使用しないでください。

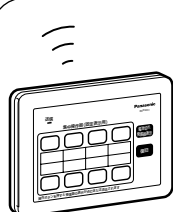
システム図



電波の到達距離は障害物のない場所での水平見通し距離で約100m



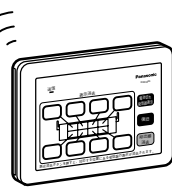
ECE3313W ECE3316W
ECE3313H ECE3316H
ECE3313A01 ECE3316A01
ECE3342 ECE3346
ECE3332 ECE3336
ECE3713W ECE3723W
(□は色番号=J01など)



遠隔操作用 集中操作器 (ECE3251) (4台まで使用可能)

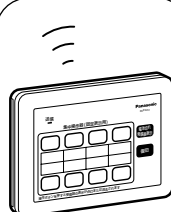


集中発信器 (ECE3201K)



集中消去器 (ECE3206)

合計、最大10台まで使用可能



番号表示用 集中操作器 (ECE3251)

最大4台まで使用可能

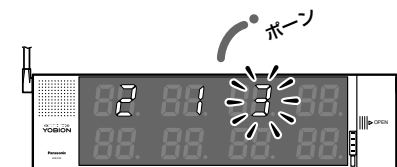
合計、最大120台まで使用可能

使いかたの流れ(例)

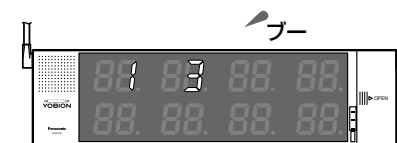
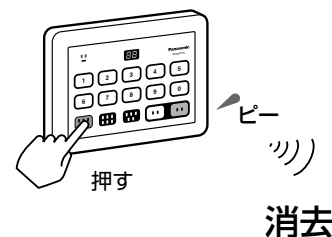
1 <お客様> 店員呼出用の発信器を押す



「2段表示」設定でお使いの場合は、
厨房からも店員呼出ができます。
(お客様からの呼出を上段、厨房からの呼出を下段に表示し、呼出元を区別できます。)



2 <店員> 呼出を確認し、消去する



3 お客様のテーブルへ

■ご使用の前に

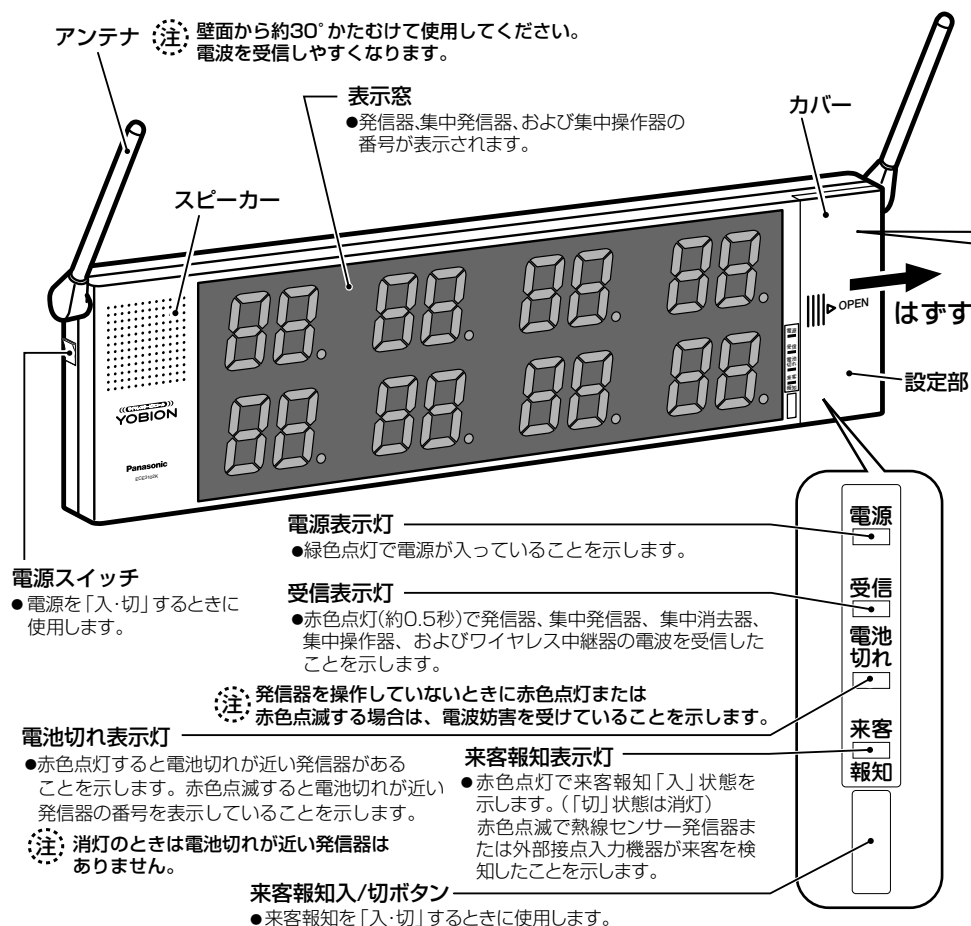
- 小電力型ワイヤレスサービスコールシステムは受信器と発信器、集中発信器、集中操作器、および集中消去器を組み合わせることで使用することにより、各発信器からの呼出を受信器側の表示と報知音で知らせるシステムです。また、ワイヤレス用アンテナを使用することにより、違うフロアや電波の届きにくい場所でも小電力型ワイヤレスサービスコールシステムを使用できます。なお、このシステムは電波法で認められた「特定小電力の無線局（テレメータ用およびテレコントロール用）」です。

●この商品は一般連絡用ですので緊急連絡用には使用しないでください。

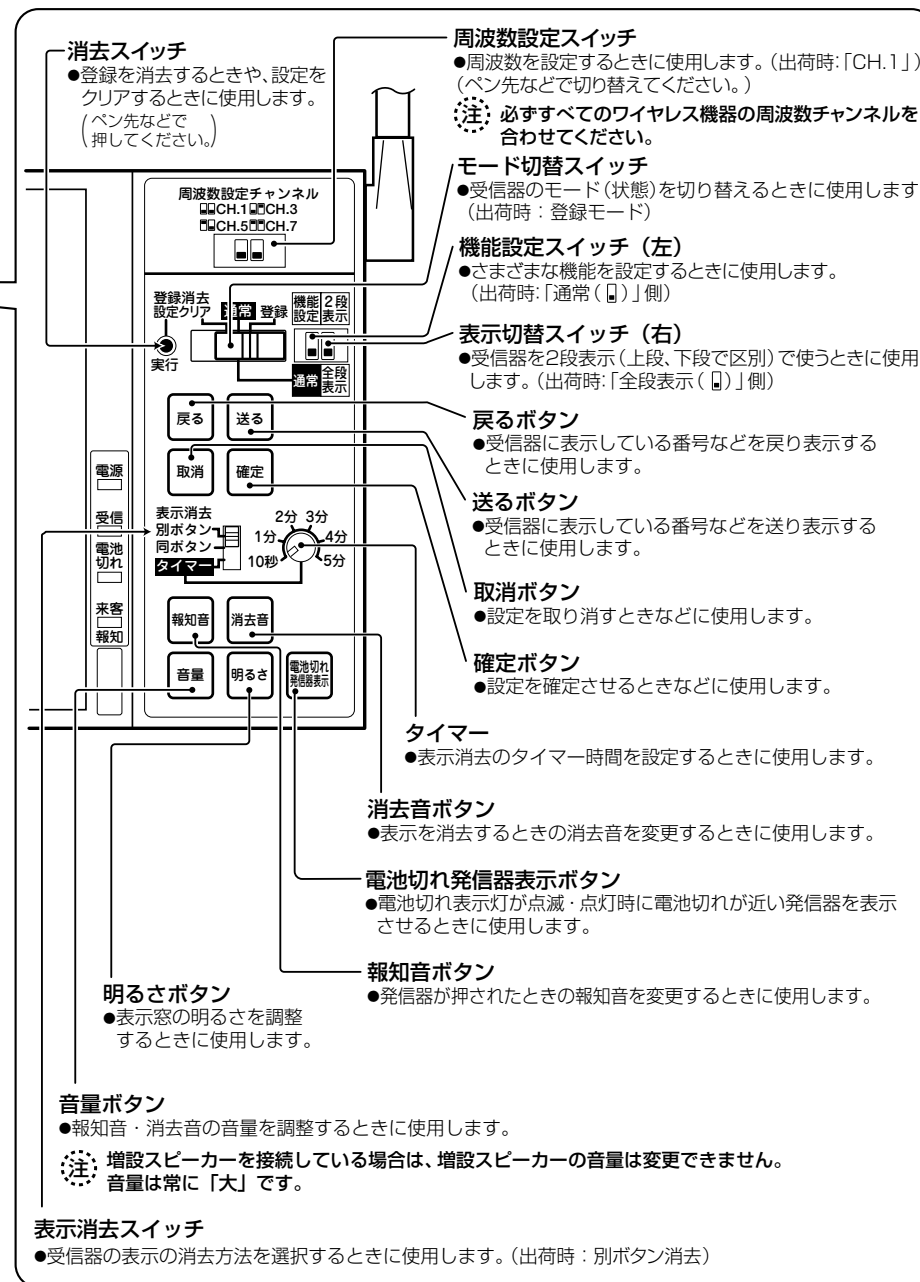
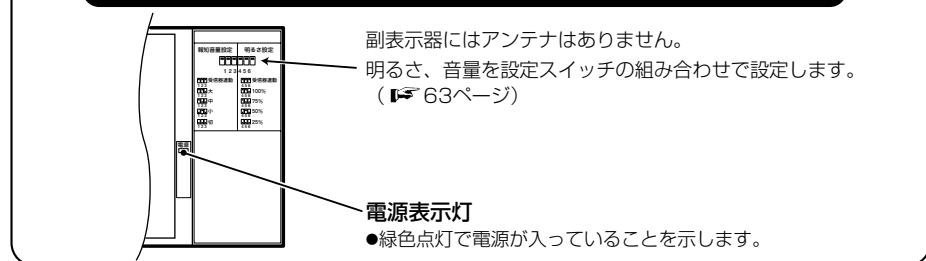
ご使用の前に

各部のなまえとはたらき

小電力型ワイヤレスサービスコール受信器 (マルチタイプ) (ECE3102K)

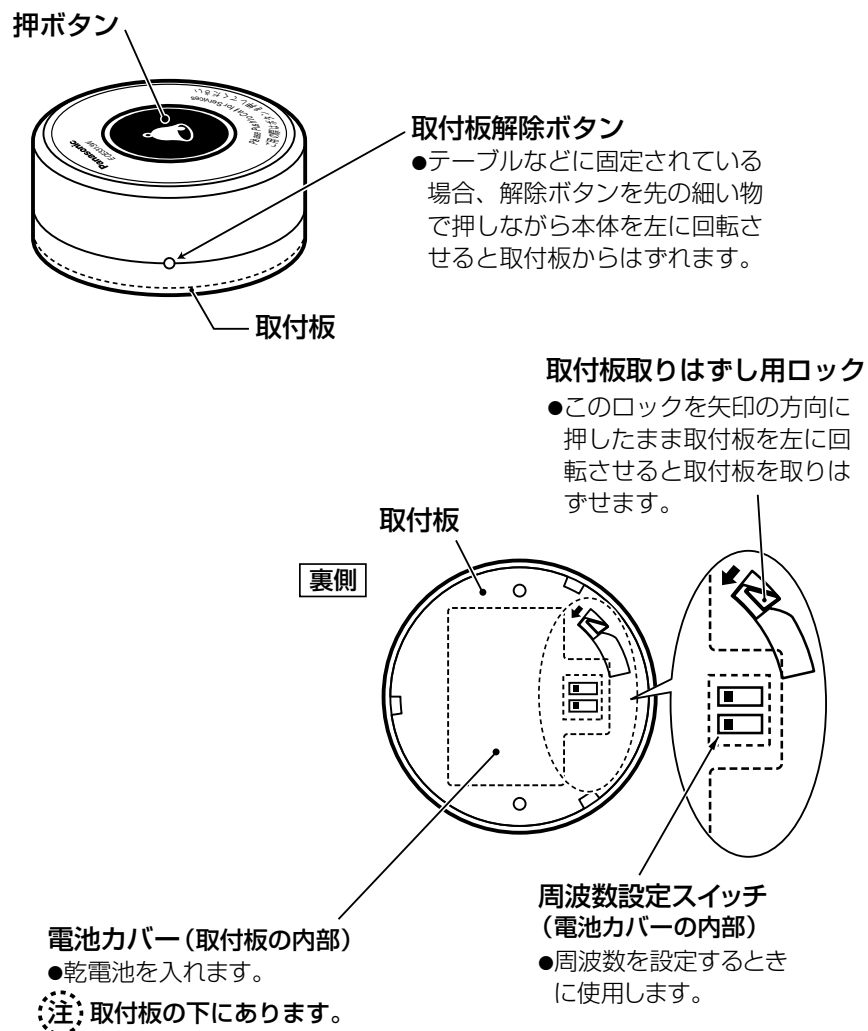


小電力型ワイヤレスサービスコール副表示器 (マルチタイプ) (ECE3107)

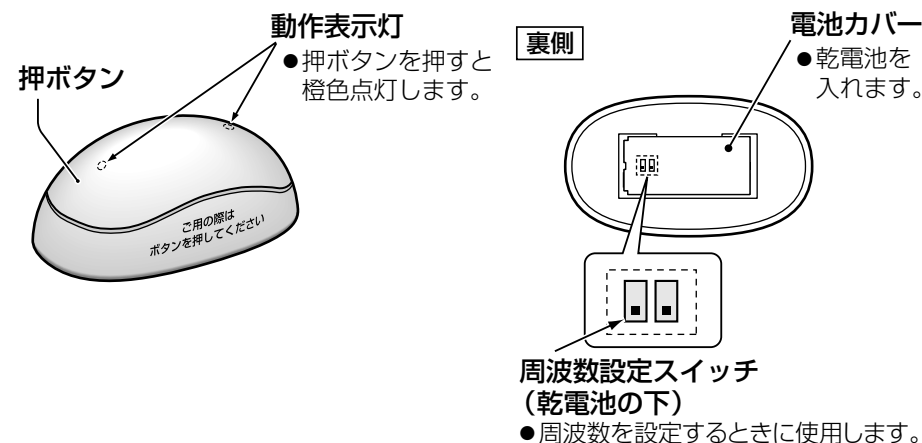


各部のなまえとはたらき (つづき)

小電力型ワイヤレスサービスコール卓上型発信器 (ECE3313シリーズ・ECE3316シリーズ)



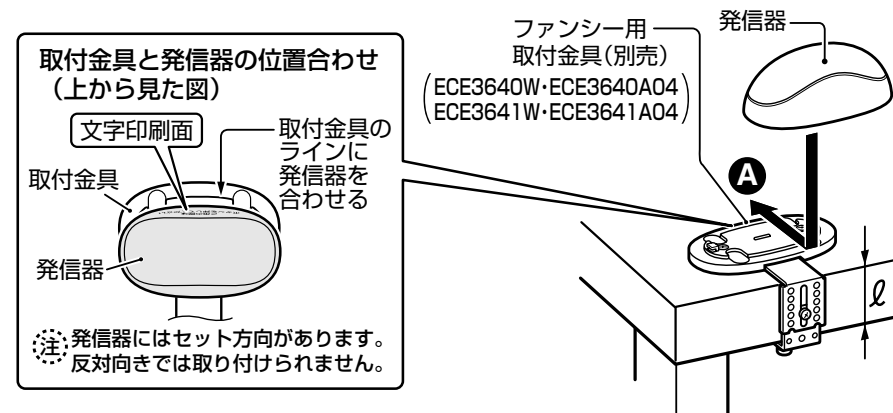
小電力型ワイヤレス発信器ファンシー (ECE3342シリーズ・ECE3346シリーズ)



取付金具へのセットのしかた

●別売の取付金具を使用して、テーブルなどへ発信器を固定することができます。

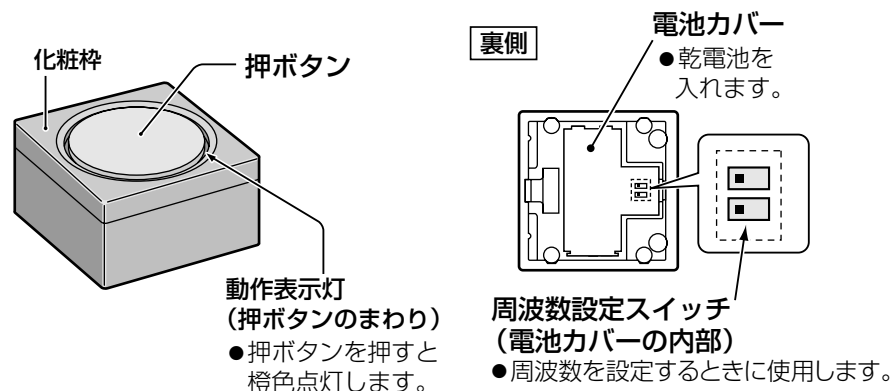
取付金具と発信器の位置を合わせて、**A** の方向に発信器をスライドさせる



発信器の色	組み合わせる取付金具	テーブルの厚み(ℓ)
ブラウン以外	ECE3640W	約12.5mm~44mm
ブラウン	ECE3640A04	
ブラウン以外	ECE3641W	約44mm~70mm
ブラウン	ECE3641A04	

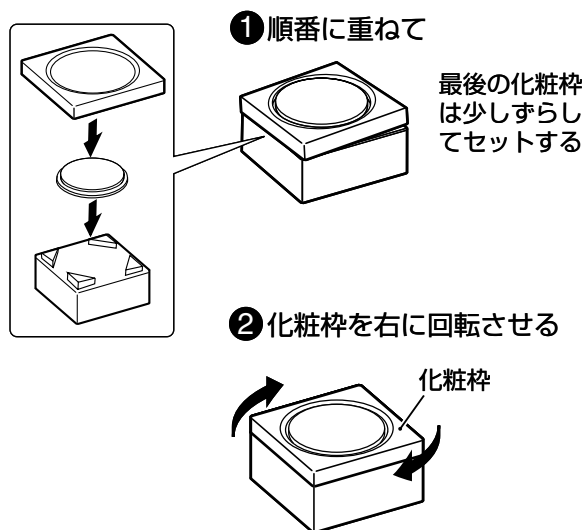
各部のなまえとはたらき (つづき)

小電力型ワイヤレス発信器みやび (ECE3332シリーズ・ECE3336シリーズ)

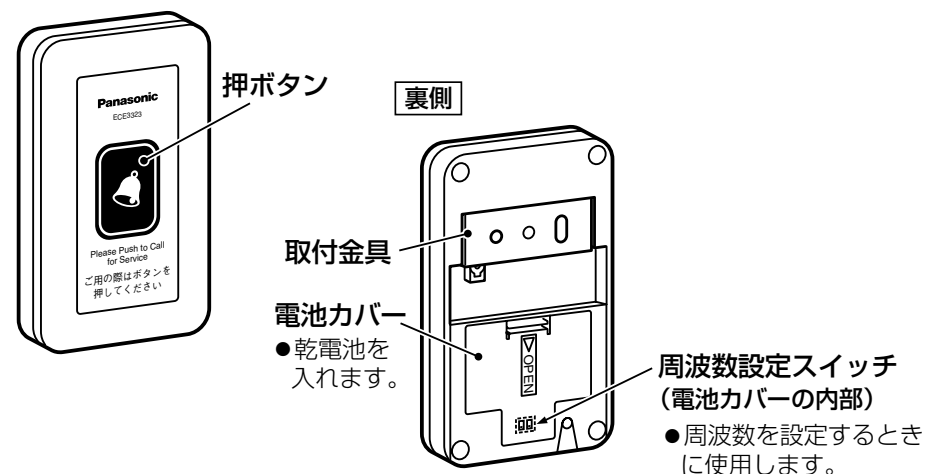


化粧枠・押ボタンのセットのしかた

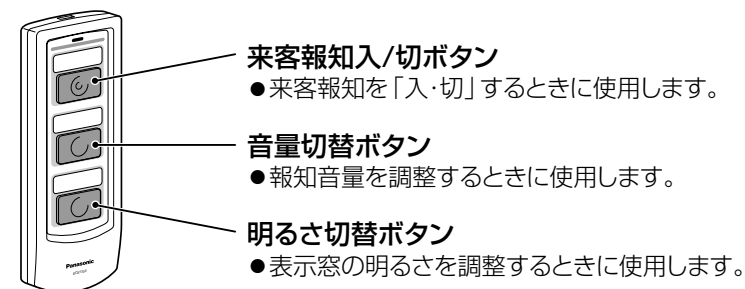
- 押ボタン部分は掃除するために、はずれる構造になっています。
清掃後や落下などではずれた場合は、下記にしたがってセットしてください。



小電力型ワイヤレスサービスコール壁掛型発信器 (ECE3323)



小電力型ワイヤレスコールスリー発信器 (ECE1703P)



周波数設定スイッチはカバーの内部にあります。(カバーのはずしかた26ページ)

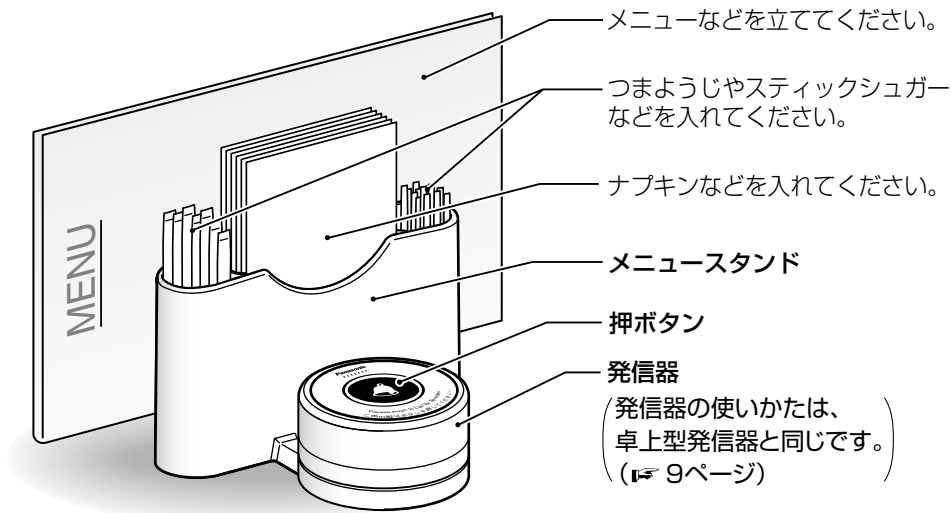
■おことわり

- 発信器(卓上型・ファンシー・みやび・壁掛型・集中操作器・集中消去器・スリー発信器)は、総務省の技術基準に適合しています。商品に貼り付けられている表示(㊞マーク)は、その証明マークです。表示マークの貼り付けられている商品は総務大臣の許可なしに改造して使用することはできません。

改造すると法律により罰せられることがあります。

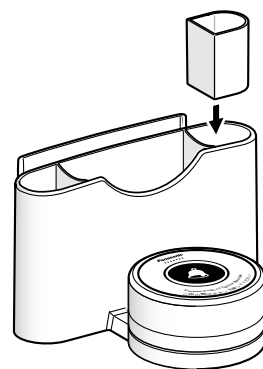
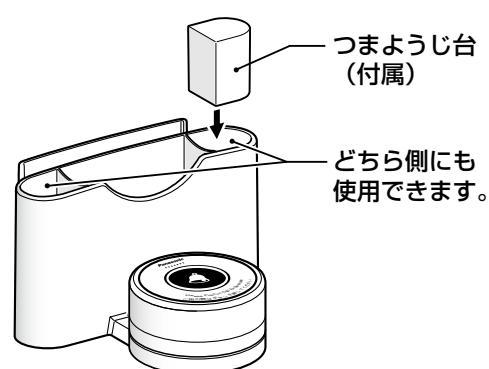
各部のなまえとはたらき (つづき)

小電力型ワイヤレスサービスコール卓上型発信器 (メニュースタンド付) (ECE3723W)



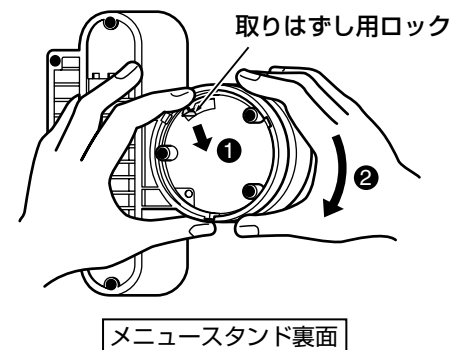
つまようじ台の使いかた

- つまようじなどのように丈が短くメニュースタンドとの高さが合わない場合に、底上げ用の台として使用してください。
- つまようじ台を底上げ用の台として使用しない場合は、底上げ使用時と逆にしてはめ込んでいただくと、高さを変えずに使用することができます。



発信器のはずしかた

- ① 取りはずし用ロックを押しながら
- ② 発信器を左に回す

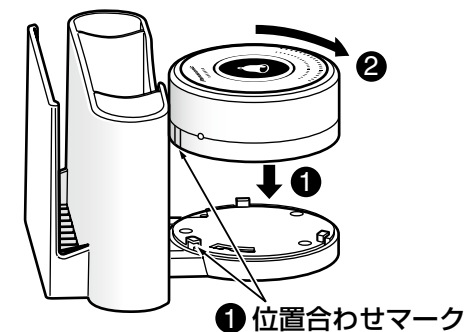


解除ボタンを先の細いもので押しながら、発信器を左に回転させてはずすこともできます。



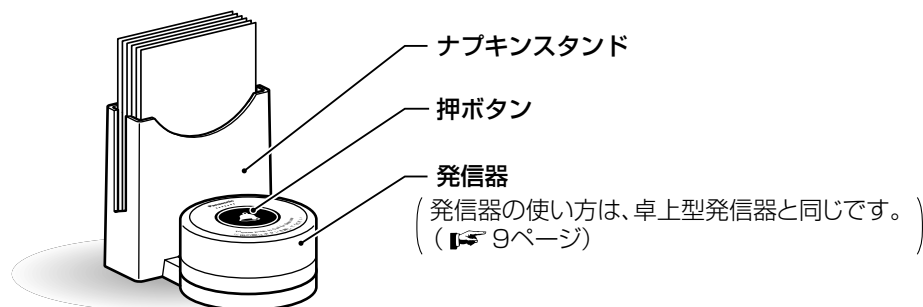
発信器のセットのしかた

- ① 位置合わせマークを合わせる
- ② 発信器を「カチッ」と音がするまで右へ回す



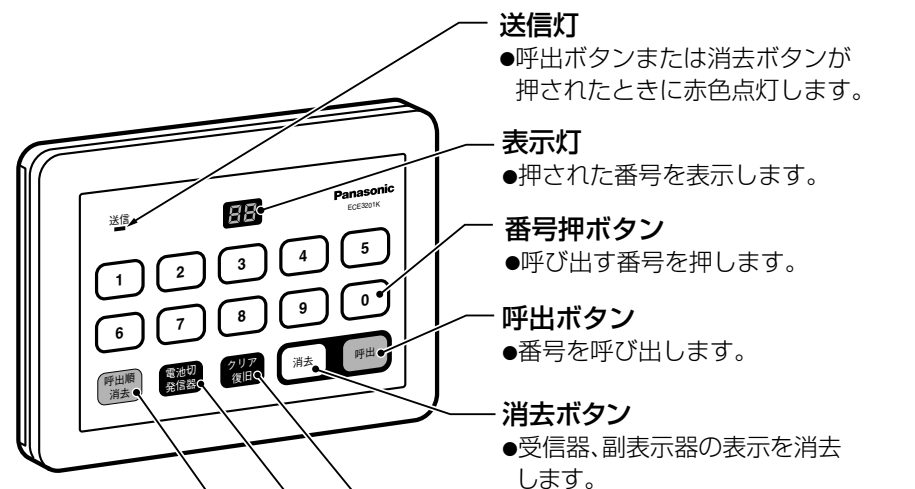
各部のなまえとはたらき (つづき)

小電力型ワイヤレスサービスコール 卓上型発信器 (ナプキンスタンド付) (ECE3713W)



- 発信器のはずしかた、セットのしかたについては、メニュースタンドと同じです。
(15 14ページ)

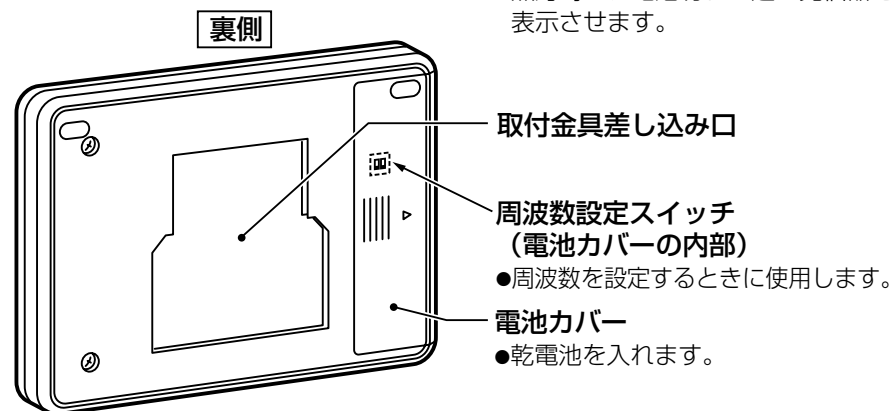
小電力型ワイヤレスサービスコール集中発信器 (ECE3201K)



呼出順消去ボタン

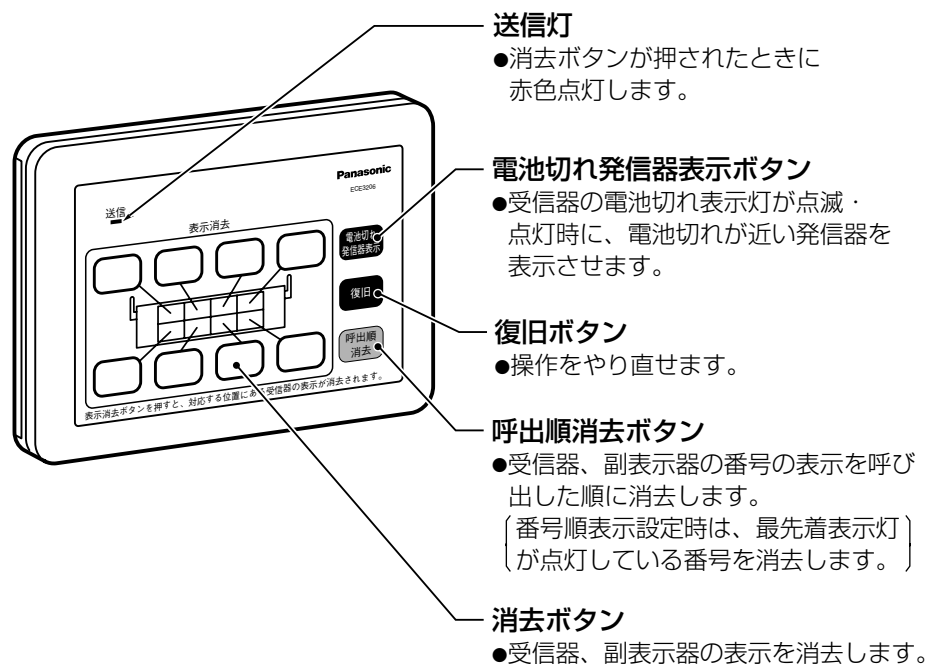
- 受信器、副表示器の番号の表示を
呼び出した順に消去します。

[番号順表示設定時は、最先着表示灯
が点灯している番号を消去します。]

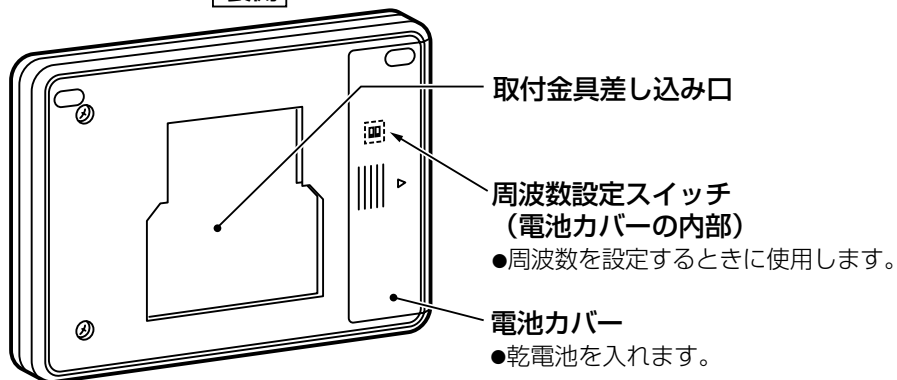


各部のなまえとはたらき (つづき)

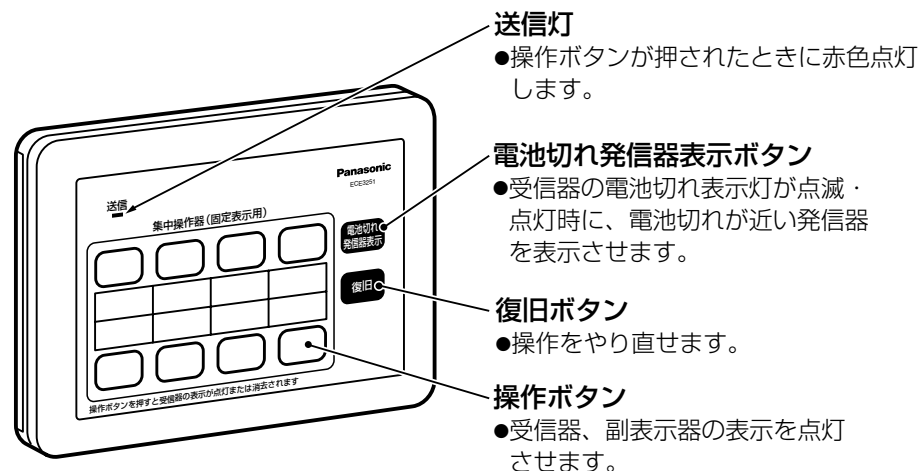
小電力型ワイヤレスサービスコール集中消去器 (ECE3206)



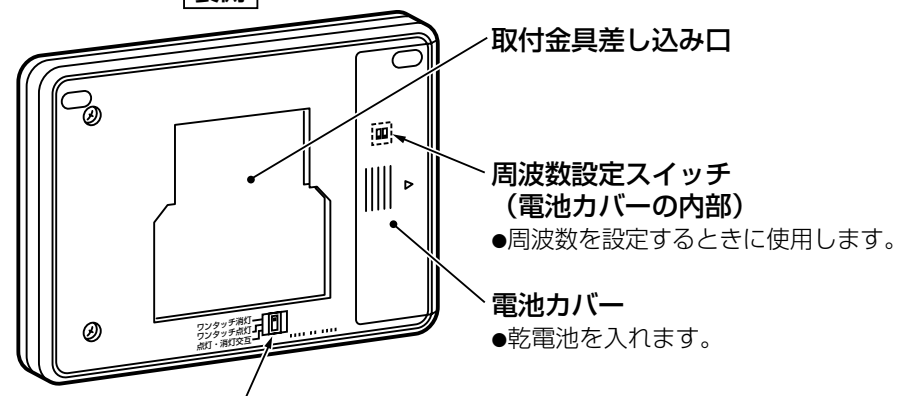
裏側



小電力型ワイヤレスサービスコール集中操作器 (固定表示タイプ用) (ECE3251)



裏側



動作切替スイッチ

ワンタッチ点灯 に切り替えて使用してください。

※ このシステムでは、**ワンタッチ消灯**、**点灯・消灯交互** では正常に動作しません。
(出荷時は、**ワンタッチ消灯** です。)

ご使用の前に

次ページに続く

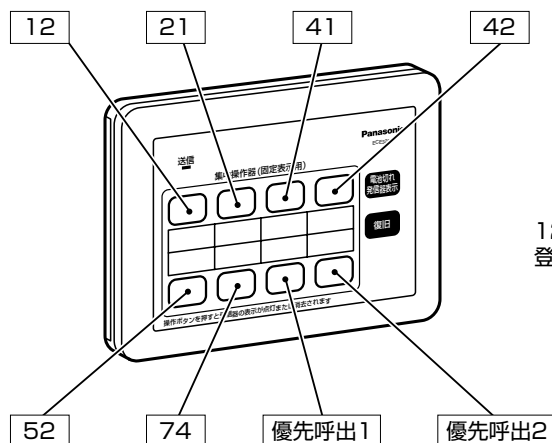
各部のなまえとはたらき (つづき)

■集中操作器の使いかた

〈番号呼出用登録時〉

各操作ボタンにお好みの番号(1～99、優先呼出1～8)を登録できます。

2段表示 上段用(1～99)、下段用(1～99)、優先呼出(1～8)の番号を8つのボタンに自由に割り当てることができます。

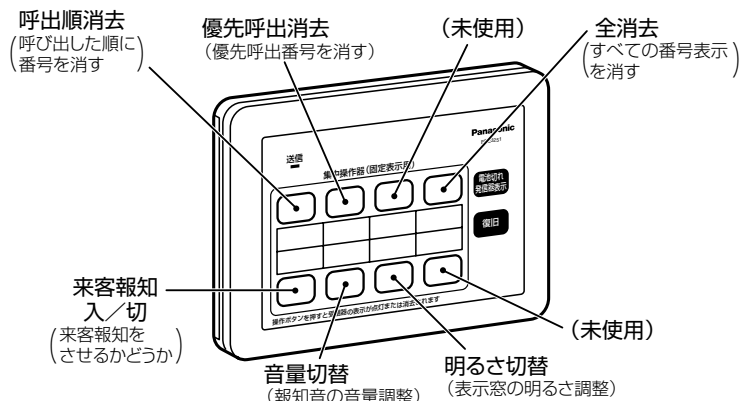


12・21・41などは登録番号の例です。

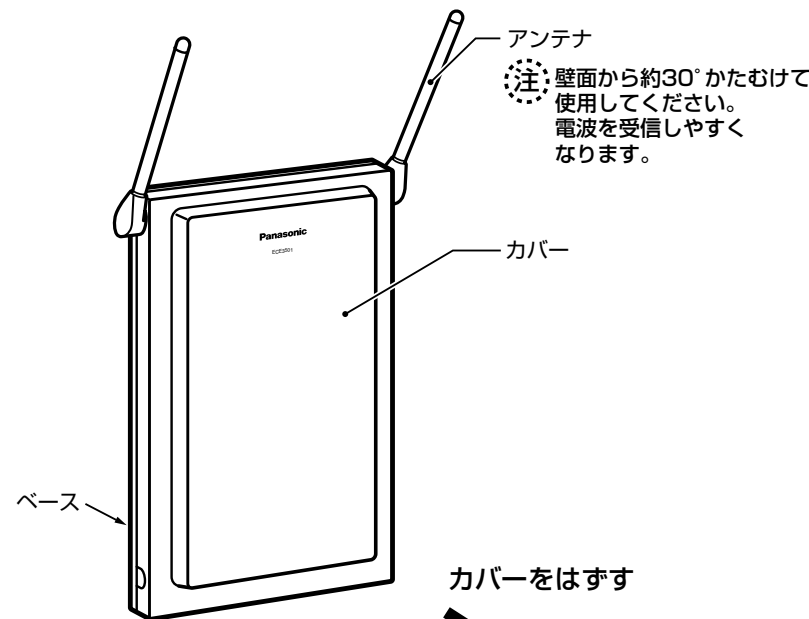
〈遠隔操作登録時〉

各操作ボタンで以下の機能の切り替えができます。

注: 各操作ボタンの役割は固定です。変更はできません。



小電力型ワイヤレス用アンテナ (ECE3501)



カバーをはずす

電源表示灯

●緑色点灯で電源が入っていることを示します。

動作表示灯

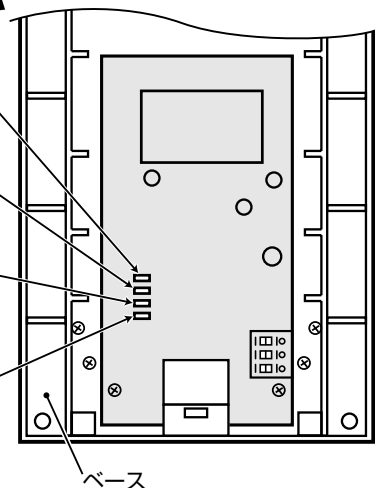
●赤色点灯でワイヤレス用アンテナから受信器へ送信していることを示します。

受信表示灯

●赤色点灯で発信器、集中発信器、集中消去器、および集中操作器の電波を受信したことを示します。

テレコン表示灯

●赤色点灯で受信器とワイヤレス用アンテナの接続が正常であることを示します。点灯しない場合は正しく接続されていません。接続し直してください。



ご使用の前に

周波数チャンネルを確認する

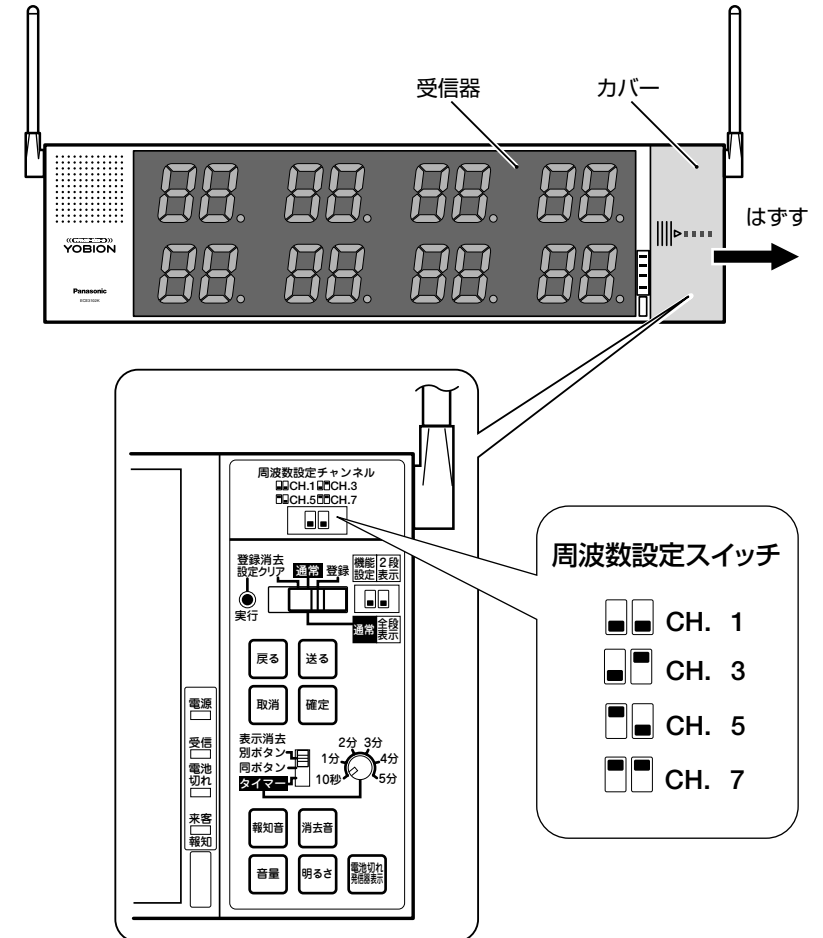
準備

まずは、以下の準備を行ってください。

- 周波数チャンネルを確認する ➡ 22ページ
- 2段表示で使う場合 ➡ 23ページ
- 乾電池を入れる ➡ 24～26ページ
- 発信器にシールを貼る ➡ 27ページ

すべてのワイヤレス機器の周波数チャンネルが同じであることを確認してください。異なると動作しません。

- 出荷時はどの機器も「CH.1」に設定されています。

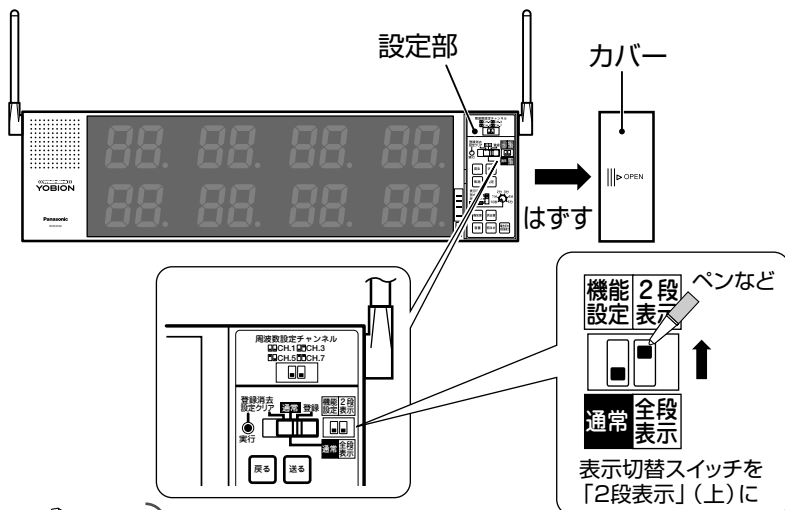
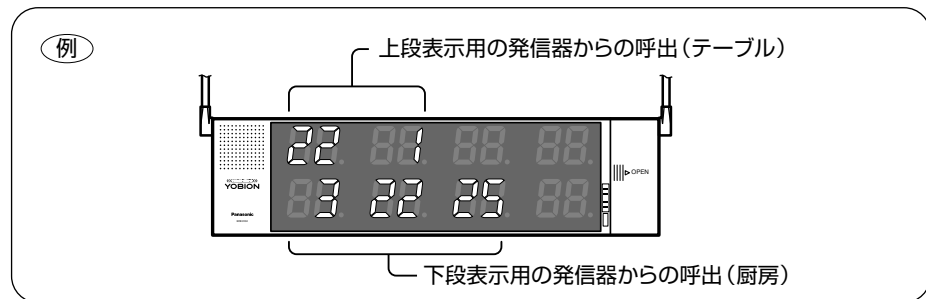


- 発信器、集中発信器、集中消去器、集中操作器の周波数チャンネル位置について ➡ 9～12、16～19ページ

2段表示で使う場合

表示窓を上段、下段で区別して、上段を客席からの呼出、下段を厨房からの呼出などに使うことができます。

- 2段表示を使うには表示切替スイッチを「2段表示」側に設定する必要があります。



メモ

- 登録について 33～34ページ
- 2段表示にしても優先呼出表示は下段右下に点滅します。
- 上段、下段とも未表示がある場合は、それぞれに「番号フル表示」が点滅します。 40ページ
- 呼出音や消去音、消去方法は上下段それぞれ個別に設定できます。 71～76ページ

乾電池を入れる

使用するワイヤレス機器のすべてに乾電池 (別売) を入れてください。

■卓上型発信器

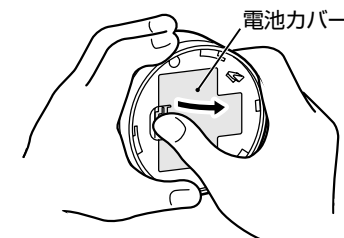
1 取付板をははずす

- 取付板取りはずし用ロックを押しながら、取付板を左に回転させてははずす。

注: 側面の取付板解除ボタンを押して取りはずすこともできます。 9ページ

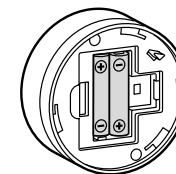


2 電池カバーをははずす



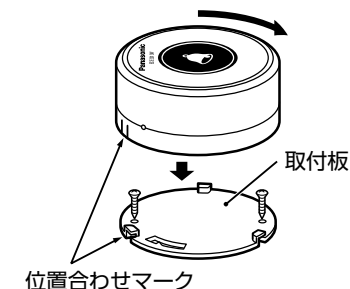
3 単4形乾電池2本(別売)を入れる

- 極性を間違えないように乾電池を入れて、電池カバーを閉める。



4 取付板を取り付ける

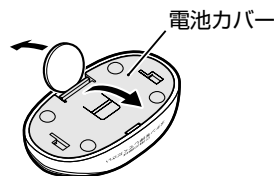
- 発信器本体と取付板の位置合わせマークを合わせ、発信器本体を「カチッ」と音がするまで右へ回転させる。



乾電池を入れる(つづき)

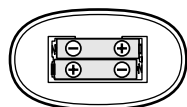
■ファンシー

- 1 コインなどで電池カバーをはずす



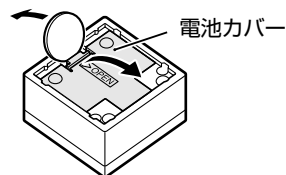
- 2 単4形乾電池2本(別売)を入れる

●極性を間違えないように乾電池を入れて、電池カバーを閉める。



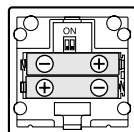
■みやび

- 1 コインなどで電池カバーをはずす



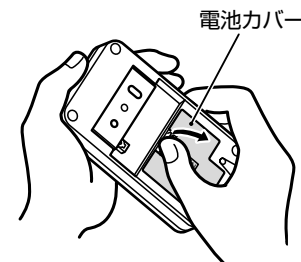
- 2 単4形乾電池2本(別売)を入れる

●極性を間違えないように乾電池を入れて、電池カバーを閉める。



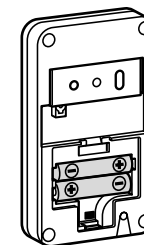
■壁掛型発信器

- 1 電池カバーをはずす



- 2 単4形乾電池2本(別売)を入れる

●極性を間違えないように乾電池を入れて、電池カバーを閉める。

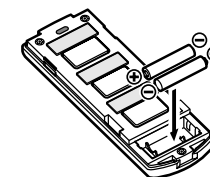


■スリー発信器

- 1 コインなどでカバーをまわしてはずす

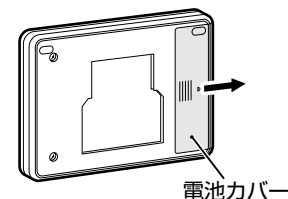


- 2 単4形乾電池2本(別売)を入れる

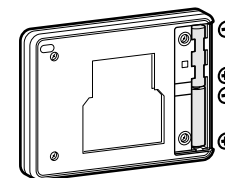


■集中発信器、集中消去器、集中操作器

- 1 電池カバーをはずす



- 2 単3形乾電池2本(別売)を入れる



発信器にシールを貼る

■ 番号呼出用の発信器に番号シール（受信器に付属）を貼る

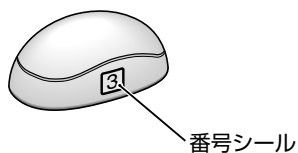
卓上型発信器



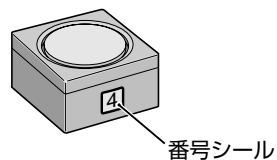
壁掛型発信器



ファンシー



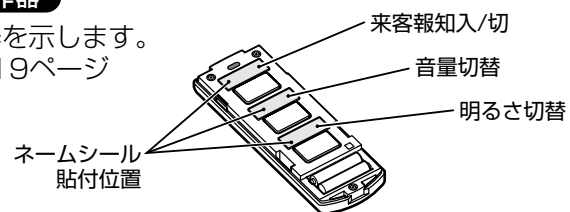
みやび



■ 遠隔操作のスリー発信器・集中操作器に遠隔操作表示ラベル（受信器に付属）を貼る

スリー発信器・集中操作器

- 図はスリー発信器を示します。
集中操作器は 19 ページ



MEMO

基本編

ワイヤレスサービスコールの基本的な使いかたの説明です。

■基本編のあらまし ➡30ページ

登録

■各発信器を番号呼出用に登録する ➡31～32ページ

■各発信器を番号呼出用に登録する(2段表示) ➡33～34ページ

■集中操作器を番号呼出用に登録する ➡35ページ

■登録を消去する ➡36～37ページ

使いかた

■発信器で呼び出す ➡38ページ

■受信器に番号が表示される ➡39～40ページ

■受信器の番号表示を消去する ➡41～45ページ

■報知音/消去音を変更する ➡46ページ

■音量を変更する ➡47ページ

■表示窓の明るさを変更する ➡48ページ

■電池切れの発信器を調べる ➡49ページ

基本編のあらまし

「基本編」では、客席や厨房などからの呼出番号を受信器に点灯させ消灯する基本の使いかたを説明します。

■発信器で番号を呼び出す



卓上型発信器

壁掛型発信器

熱線センサー発信器

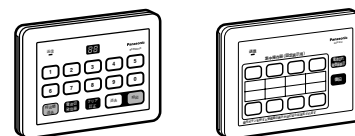
●登録について **全段表示**

➡31～32ページ

2段表示

➡33～34ページ

●呼出について ➡38ページ



集中発信器

集中操作器

■発信器で番号表示を消去する

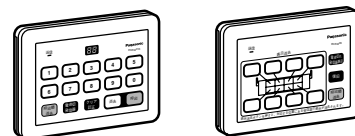
●登録について **全段表示**

➡31～32ページ

2段表示

➡33～34ページ

●消去について ➡41～45ページ



集中発信器

集中消去器



卓上型発信器



壁掛型発信器

〔卓上型発信器、壁掛型発信器で消去するには、受信器の表示消去スイッチを「同ボタン消去」に設定する必要があります。〕

お使いになる発信器、集中発信器、集中消去器、および集中操作器などは、すべて受信器に登録する必要があります。

※登録しないと使用できません。

※

●登録や消去は受信器またはワイヤレス用アンテナの近くで行ってください。

●登録可能台数について ➡5ページ

各発信器を番号呼出用に登録する

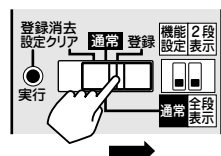
●2段表示設定の場合の登録方法 33～34ページ

受信器のカバーをはずしてください。



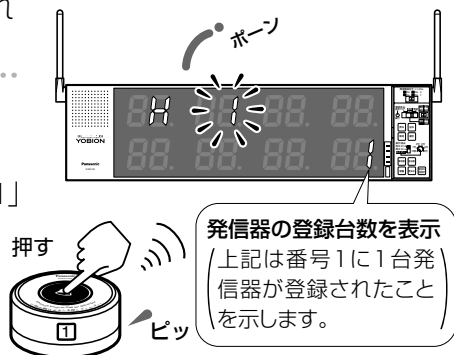
1 モード切替スイッチを[登録]側にする

→表示窓に「H 1」と表示され、番号1への登録状態であることを示します。右下には登録台数が表示されます。未登録の場合には「0」が表示されます。



2 発信器(1)の押ボタンを押す

→「ポーン」と鳴り、1の発信器が「1」で登録されます。
→表示が「H 2」にくり上がります。



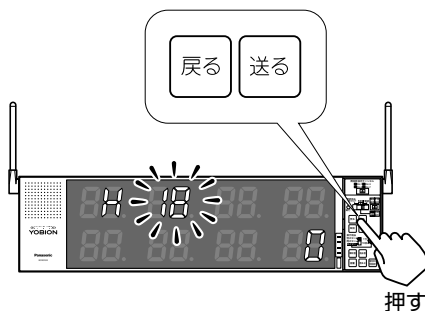
3 発信器(2以降)の押ボタンを番号順に押す

→番号順に登録されていきます。

登録番号を選択する

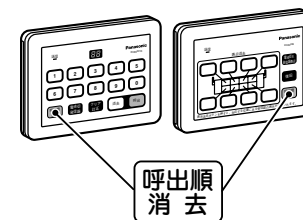
登録させる番号を選びたい場合は、**戻る** **送る** ボタンを使って、目的の番号を表示させてから発信器の押ボタンを押してください。

●「H1」～「H99」の中から選んでください。

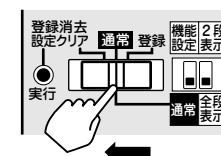


4 集中発信器、集中消去器の呼出順消去ボタンを押す

→他の番号が表示されていても「ポーン」と鳴り、約1秒間「H00」と表示された後、番号表示に戻ります。
(複数台あっても区別なく「H00」で登録されます。)



5 登録が終わればモード切替スイッチを[通常]側に戻す



メモ

- 発信器などが1台も登録されていない状態でモード切替スイッチを「通常」側または「登録消去」側にすると、受信器に「E」が点滅します。
- 1つの発信器を2以上の番号に登録することはできません。
- 同じ登録番号に複数の発信器を登録することができます。(120台まで)
- 登録番号を間違えた場合は、**戻る** **送る** ボタンで正しい番号を表示させてから、もう一度発信器の押ボタンを押してください。(新しい番号に登録し直されます。)
- 集中発信器、集中消去器は複数台あってもすべて「H00」に登録されます。
- 受信器の報知音を変更した場合、登録時に鳴る音も変わります。
46ページ、65～70ページ
- 熱線センサー発信器を番号に登録することもできます。この場合、登録した後は、受信器のモード切替スイッチを「通常」側に戻すまでは、熱線センサー発信器の電池を抜いておいてください。(熱線センサー発信器が動作して再登録されるのを防ぐため)
- 小電力型ワイヤレスコールシリーズの発信器も使用できます。

各発信器を番号呼出用に登録する

(2段表示)

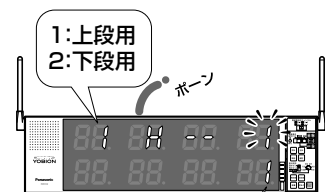
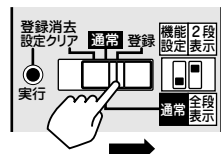
受信器のカバーをはずしてください。

●2段表示設定 ➡ 23ページ



1 モード切替スイッチを[登録]側にする

➡表示窓に"1H-1"と表示され、上段用番号1への登録状態であることを示します。
右下には登録台数が表示されます。
未登録の場合には"0"が表示されます。



発信器の登録台数を表示
(上記は上段用番号1に
1台発信器が登録され
たことを示します。)

2 発信器(上段用[1])の押ボタンを押す

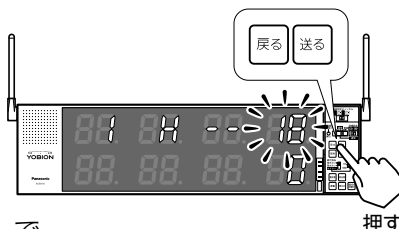
➡「ポーン」と鳴り、[1]の発信器が上段用「1」で登録されます。
➡表示が"1H-2"にくり上がります。

3 発信器(上段用[2]以降)の押ボタンを番号順に押す

➡番号順に登録されていきます。

登録番号を選択する

登録させる番号を選びたい場合は、**[戻る]****[送る]** ボタンを使って、目的の番号を表示させてから発信器の押ボタンを押してください。



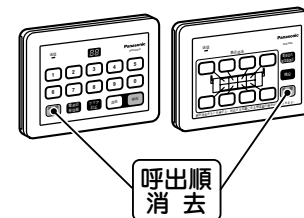
●上段用発信器は1H-1～1H-99から選んでください。(下段用発信器は2H-1～2H-99)

4 上段用集中発信器・上段用集中消去器の呼出順消去 ボタンを押す

➡他の番号が表示されていても「ポーン」と鳴り、約1秒間"1H-00"と表示された後、番号表示に戻ります。

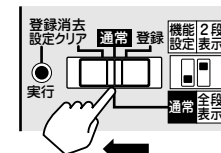
(複数台であっても区別なく"1H-00"で登録されます。下段用の場合は、"2H-00"と表示されます。)

●上段用の場合は受信器左上に"1"が点滅していることを確認してください。(下段用は"2")



5 送る ボタンを押して"2H-1"を表示させ、2～4と同様に下段用発信器の登録を行う

6 登録が終わればモード切替スイッチを[通常]側に戻す



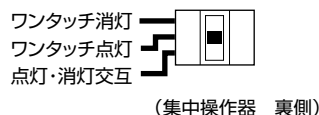
メモ

- 発信器などが1台も登録されていない状態でモード切替スイッチを「通常」側または「登録消去」側にとすると、受信器に「E」が点滅します。
- 1つの発信器を2以上の番号に登録することはできません。
- 同じ登録番号に複数の発信器を登録することができます。(120台まで)
- 登録番号を間違えた場合は、**[戻る]****[送る]** ボタンで正しい番号を表示させてから、もう一度発信器の押ボタンを押してください。(新しい番号に登録し直されます。)
- 集中発信器、集中消去器は複数台あってもすべて"1H-00"あるいは"2H-00"に登録されます。
- 受信器の報知音を変更した場合、登録時に鳴る音も変わります。
➡ 46ページ、71～76ページ
- 熱線センサー発信器を番号に登録することもできます。この場合、登録した後は、受信器のモード切替スイッチを「通常」側に戻すまでは、熱線センサー発信器の電池を抜いておいてください。(熱線センサー発信器が動作して再登録されるのを防ぐため)
- 小電力型ワイヤレスコールシリーズの発信器も使用できます。

集中操作器を番号呼出用に登録する

受信器のモード切替スイッチが[登録]側であることを確認してください。

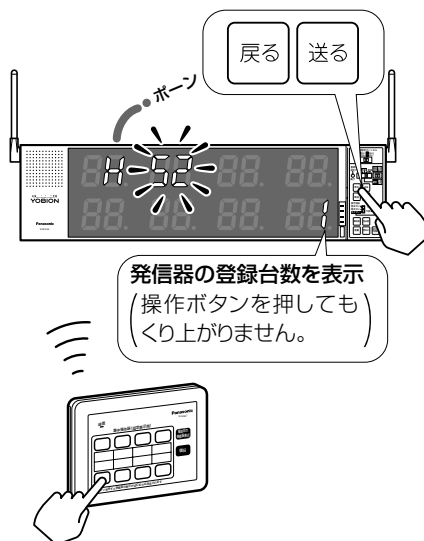
- 1 集中操作器の動作切替スイッチを[ワンタッチ点灯]側にする
●「ワンタッチ点灯」側にしないと、正しく登録できません。



- 2 戻る 送る ボタンで登録したい番号を表示させる
("H1"~"H99")

2段表示

上段用への登録："1H-1"~"1H-99"
下段用への登録："2H-1"~"2H-99"



- 3 登録させたい集中操作器の操作ボタンを押す
➡「ブーン」と鳴り、押した操作ボタンに表示番号が登録されます。

- 4 手順 2、3 をくり返して登録を行う

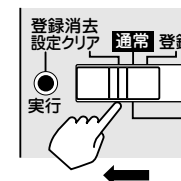
登録操作がすべて完了したら受信器のモード切替スイッチを[通常]側に戻してください。



- 1つの操作ボタンを2コ以上の番号に登録することはできません。
- 8つの操作ボタンすべてを登録する必要はありません。
- 登録番号を間違えた場合は、戻る 送る ボタンで正しい番号を表示させてから、もう一度操作ボタンを押してください。(新しい番号に登録し直されます。)

登録を消去する

- 1 モード切替スイッチを[登録消去]側にする
➡登録済みの番号が表示されます。



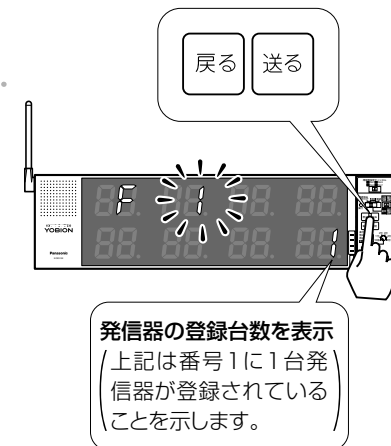
- 2 戻る 送る ボタンを使って消したい内容を表示させる

全段表示

表示リスト70ページ

2段表示

表示リスト76ページ



- 3 消去 スイッチを押す(約1秒)

➡「ブー」音が鳴り、表示させた発信器の登録が消去されます。

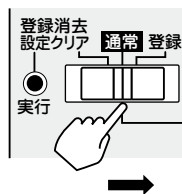


- 4 必要であれば、手順 2、3 をくり返して消去を行う

次ページに続く

登録を消去する(つづき)

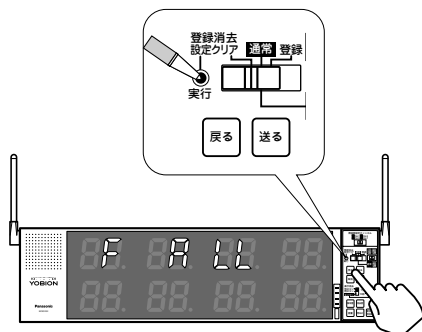
- 5** 消去操作が終われば、モード切替スイッチを[通常]側にする



すべての登録を消去したい場合は

すべての登録を消去する場合は、"F A L L"を[戻る][送る]ボタンを使って表示させて[消去]スイッチを押してください。

→「ブー」音が鳴り、表示窓に"E"が点滅してすべての登録が消去されます。



使いかた

発信器で呼び出す

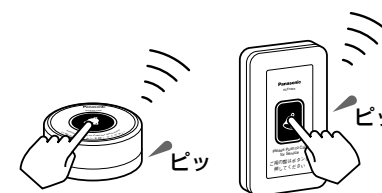
卓上型発信器、壁掛型発信器

押ボタンを押す

→発信器に登録した番号が受信器に表示されます。

2段表示

登録した段に表示されます。



集中発信器

1 呼び出したい番号を選ぶ

→表示灯に表示されます。

2 呼出 ボタンを押す

→呼び出した番号が受信器に表示されます。

2段表示

登録した段に表示されます。

※ 番号を選んでから4秒以内に[呼出]ボタンを押してください。(約4秒後に表示灯の番号表示が消えます。)



■間違えたとき

クリア/復旧 ボタンを押す

- 手順 1 であれば、表示灯の番号表示が消えます。
- 手順 2 であれば、[呼出]ボタンを押してから10秒以内なら受信器の表示を消灯できます。

集中操作器(番号呼出用)

呼び出したい番号を登録した操作ボタンを押す

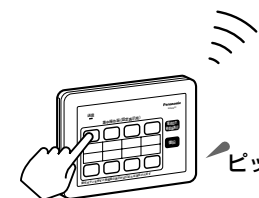
2段表示

登録した段に表示されます。

■間違えたとき

復旧 ボタンを押す

- 受信器の表示を消灯できます。



受信器に番号が表示される

呼出順表示(出荷時)

左から呼び出した順に番号表示されます。



➡呼出を受信すると、番号が約5秒間点滅し点灯に変わります。

メモ

- 報知音は変更できます。
👉 **全段表示** 46ページ、65～70ページ **2段表示** 46ページ、71～76ページ
- 報知音の鳴動回数は変更できます。
👉 **全段表示** 65～70ページ **2段表示** 71～76ページ
- 呼出順に関係なく数字の小さい番号順に表示させることもできます。
(番号順表示 👉 40ページ)
- 再呼出の点滅と区別するため、新着呼出受信時の点滅をしないようにすることもできます。
👉 **全段表示** 65～70ページ **2段表示** 71～76ページ

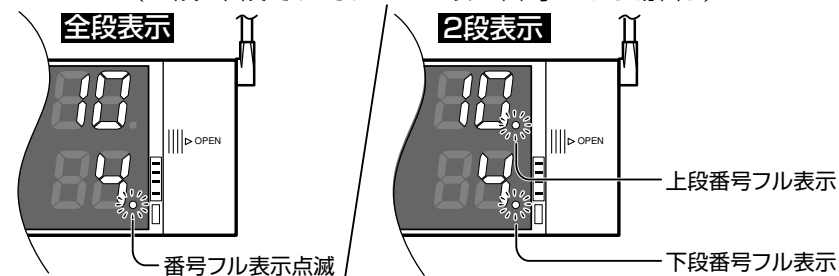
再呼出表示

同じ番号の発信器から2回以上呼び出されると、その番号が点滅し続けます。

- 消灯するまで点滅し続けます。

メモ

- 再呼出時の点滅表示を継続しないようにすることもできます。
👉 **全段表示** 65～70ページ **2段表示** 71～76ページ
- 5秒以内の同じ番号からの再呼出は受け付けません。
(押し間違いによる再呼出表示を防ぐため)
- 一度に20コまで番号を記憶します。(**全段表示** 先着の8コが表示されます。 **2段表示** 上段、下段に各先着4コが表示されます。) 表示されている番号を消去(👉 41～45ページ) することにより最先着の番号が消えて、記憶されている番号が順に表示されます。
- 未表示の番号(9コ以上の番号)がある場合は、右下の「番号フル表示」が点滅します。
2段表示 上下段それぞれで「番号フル表示」が点滅します。
(上段、下段それぞれが5コ以上番号がある場合。)



番号順表示

呼出順に関係なく数字の小さい番号順に表示させることができます。

- 番号順表示をするには機能設定で「番号順表示」に設定する必要があります。(出荷時は、「呼出順表示」)
👉 **全段表示** 65～70ページ、**2段表示** 71～76ページ



➡一番始めに呼び出された番号に「最先着表示」が点灯します。

受信器の番号表示を消去する

番号を消去するには集中発信器、集中消去器、集中操作器を使う「別ボタン」、呼び出した発信器を押す「同ボタン」、設定した時間が経過すれば消える「タイマー」の3つの方法があります。

●品番ECE3316・ECE3346・ECE3336シリーズの卓上型発信器の消去方法について 45ページ

2段表示 下段は異なる消去方法に設定することができます。

71～76ページ

別ボタン消去（出荷時）

表示消去スイッチを「別ボタン」側にする

集中発信器

1 消去したい番号を選ぶ

→表示灯に表示されます。

2 消去 ボタンを押す

→「ブー」音が鳴り、表示された番号が消えます。

2段表示 集中発信器を登録した段のみの消去になります。

呼出順消去

呼出順消去 ボタンを押すと、呼び出した順に番号が消えます。

（ただし、「呼出順消去」ボタンでは優先呼出表示は消去できません。）

2段表示 集中発信器を登録した段のみの消去になります。

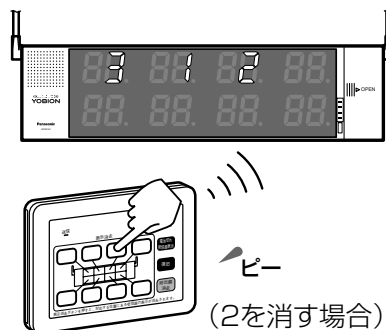
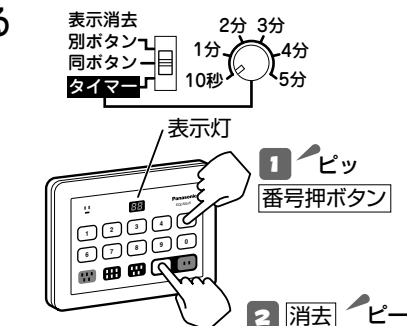
間違えたときは10秒以内に「復旧」ボタンを押す。

- 手順 1 であれば、表示灯の番号表示が消えます。
- 手順 2 であれば、「消去」ボタンを押してから10秒以内なら受信器の表示を再表示できます。

集中消去器

1 表示順に対応した位置のボタンを押す

→「ブー」音が鳴り、位置に対応した番号が消えます。



呼出順消去

呼出順消去 ボタンを押すと、呼び出した順に番号が消えます。

（ただし、「呼出順消去」ボタンでは優先呼出表示は消去できません。）

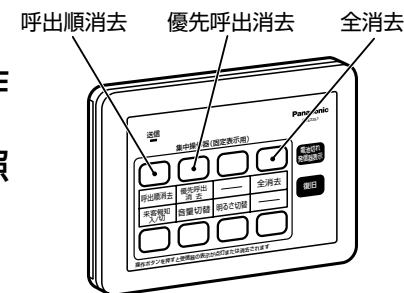
2段表示 集中消去器を登録した段のみの消去になります。

間違えたときは10秒以内に「復旧」ボタンを押す。

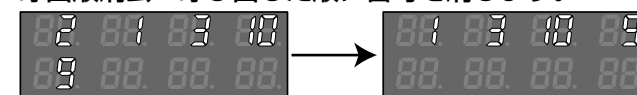
- 受信器の表示を再表示できます。

集中操作器

遠隔操作用に登録した集中操作器で次のような消去ができます。登録については57ページを参照してください。

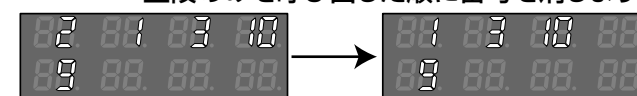


呼出順消去：呼び出した順に番号を消します。

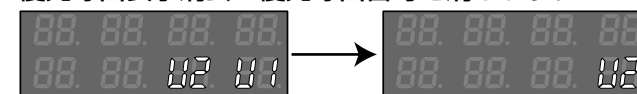


2段表示 の場合の呼出順消去：

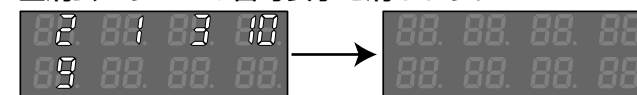
上段のみを呼び出した順に番号を消します。



優先呼出表示消去：優先呼出番号を消します。



全消去：すべての番号表示を消します。



間違えたときは10秒以内に「復旧」ボタンを押す。

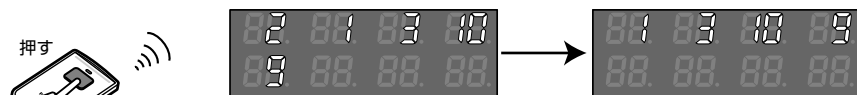
- 受信器の表示を再表示できます。

次ページに続く

受信器の番号表示を消去する(つづき)

呼出順消去用発信器

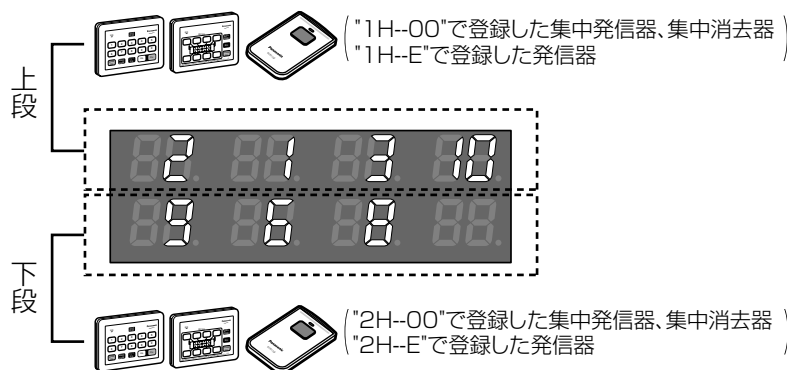
呼出順消去用に登録した発信器で、呼び出した順に番号を消すことができます。登録については56ページを参照してください。



2段表示 発信器を登録した段のみの消去となります。

■2段表示の消去方法について

- 2段表示設定でお使いの場合、発信器、集中発信器、集中消去器による消去および呼出順消去はそれぞれ登録した段に対してのみ行います。



- 遠隔操作用に登録した集中操作器の呼出順消去は上段のみの消去を行います。

メモ

- 「別ボタン消去」設定時には発信器(呼出順消去用発信器以外)では消去できません。ただし、優先呼出表示は優先呼出消去用発信器で消去できます。
 - 番号呼出用に登録した集中操作器では表示消去はできません。
 - 消去音は変更できます。
- ☞ **全段表示** 46ページ、65～70ページ **2段表示** 46ページ、71～76ページ

同ボタン消去

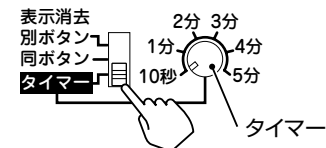
表示消去スイッチを
[同ボタン]側にする



➡ 呼び出した番号に登録した発信器の押ボタンを再度押すと、「ブー」音が鳴り、その番号が消去されます。

タイマー消去

1 表示消去スイッチを [タイマー]側にする



2 消去時間をタイマーで設定する

- 10秒、30秒、および1分～5分を30秒単位で設定できます。
- ➡ 設定した時間が経過すると、「ブー」音が鳴り、表示が自動的に消去されます。

メモ

- 「同ボタン消去」、「タイマー消去」設定時とも消去音は変更できます。
- ☞ **全段表示** 46ページ、65～70ページ **2段表示** 46ページ、71～76ページ
- 「同ボタン消去」、「タイマー消去」設定時も集中発信器、集中消去器、集中操作器、呼出順消去用発信器での消去ができます。

電池切れが近い発信器の表示を消去すると、1秒間点滅してから番号が消えます。点滅した番号の発信器は、電池を交換してください。

☞ 24～26ページ

受信器の番号表示を消去する(つづき)

ECE3316・ECE3346・ECE3336シリーズの卓上型発信器の操作方法

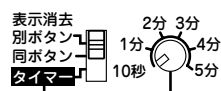
ECE3316・ECE3346・ECE3336シリーズの卓上型発信器では受信器の表示を消去することができます。以下の手順で消去操作をしてください。

ECE3316・3346・3336
シリーズの卓上型発信器

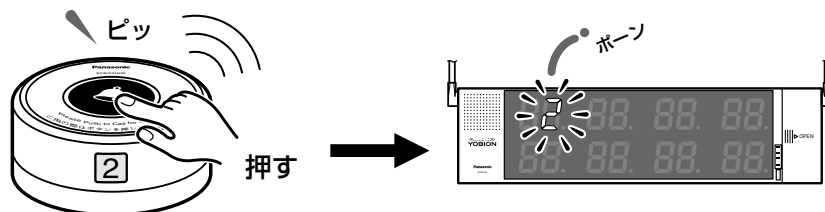
ECE3316W・ECE3316H・ECE3316A01
ECE3346□□□・ECE3336□□□
(□は色品番=J01など)

別ボタン消去

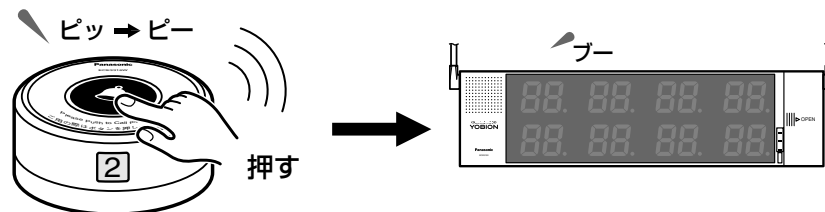
表示消去スイッチを
[別ボタン]側にする



1 押ボタンを押す (呼び出す)



2 押ボタンを 1.5 秒以上 押す (番号を消す)



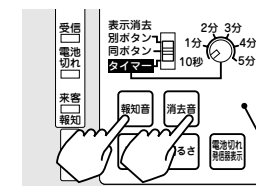
※ 連続音「ピー」音が鳴るまで押し続けてください。
押ボタンを離れたときに番号が消えます。

報知音/消去音を変更する

呼出時の報知音、消去時の消去音をそれぞれ変更することができます。

2段表示 ここでの設定は上段に対する設定です。下段は異なる設定にすることができます。➡ 71～76ページ

■受信器の報知音ボタン、 消去音ボタンを押して それぞれを変更する



〈出荷時〉

報知音：「ポーン」音 消去音：「ブー」音

設定部
(カバーをはずして
ください。)

➡ 押すとまず現在の設定音で鳴り、押すごとに次のように音をくり返します。
お好みの音を選んでください。

「ポーン」→「ピンポンA」→「ピンポンB」→「ポロロン」→「ブー」→
「メロディA」→「メロディB」→「無音※」→「ポーン」→……くり返し

※「ピッ」と鳴りますが無音に設定されます。

メモ

- 操作中に5秒以上間隔をあけると、選択中の音に確定されます。
- 表示窓に番号を表示しているときでも変更できます。
- 鳴動回数を設定できます。
- ➡ **全段表示** 65～70ページ、**2段表示** 71～76ページ
- 優先呼出時の報知音・消去音も変更できます。
- ➡ **全段表示** 65～70ページ、**2段表示** 71～76ページ

音量を変更する

報知音や消去音の音量を変更することができます。

■受信器の音量ボタンを押して変更する

〈出荷時〉：音量「大」

表示窓



(例：音量「大」)

➡ 押すとまず現在の音量で鳴り、押すごとに次のように音量が変化します。
お好みの音量を選んでください。

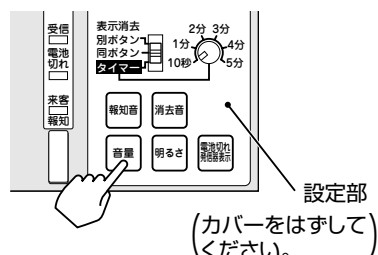
「小(00 L 1)」→「中(00 L 2)」→「大(00 L 3)」
→「切(00 L OFF)※」→「小(00 L 1)」→……くり返し

()内=表示窓の表示

※「ピッ」と鳴りますが無音に設定されます。

メモ

- 操作中に5秒以上間隔をあけると、選択中の音量に確定されます。
- 表示窓に番号を表示しているときでも変更できます。
- 遠隔操作用に登録した発信器でも音量を切り替えることができます。
集中操作器 57ページ
スリー発信器 58ページ
卓上型・壁掛型発信器 59ページ
- 増設スピーカーの音量は変わりません。
- 上段、下段、優先呼出、来客報知などの音量をそれぞれ個別に設定することはできません。



表示窓の明るさを変更する

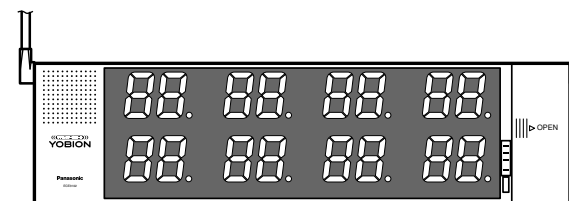
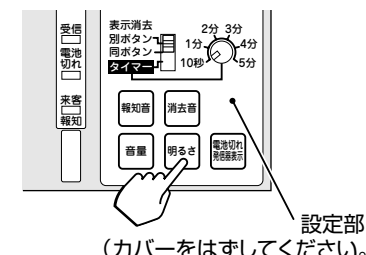
受信器の表示窓の明るさを変更することができます。

■受信器の明るさボタンを押して変更する

〈出荷時〉：明るさ100% (最大)

➡ 押すとまず現在の明るさで表示され、押すごとに4段階に明るさが変わります。
お好みの明るさを選んでください。

「明るさ25%」→「明るさ50%」→「明るさ75%」→「明るさ100%」
→「明るさ25%」→……くり返し



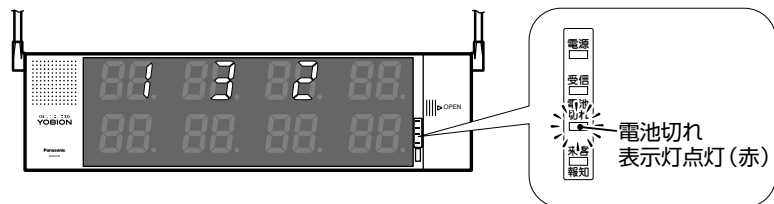
表示部のすべての番号表示が88. と点灯して明るさを示します。

メモ

- 操作中に5秒以上間隔をあけると、選択中の明るさに確定されます。
- 表示窓に番号を表示しているときでも変更できます。
- 遠隔操作用に登録した発信器でも明るさを切り替えることができます。
集中操作器 57ページ
スリー発信器 58ページ
卓上型・壁掛型発信器 59ページ

電池切れの発信器を調べる

電池切れが近い発信器がある場合、受信器の電池切れ表示灯が赤色点灯しますので、次の操作をしてください。

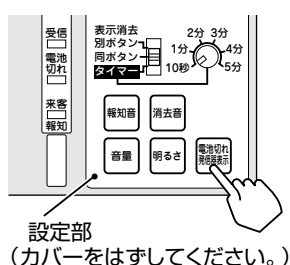


1 受信器の「電池切れ発信器表示」ボタンを押す

→ 電池が切れかかっている発信器の番号が表示されます。

● 表示リスト

- ☞ 全段表示 70ページ、
- ☞ 2段表示 76ページ

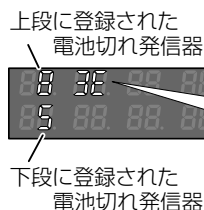


※ 集中発信器、集中操作器、集中消去器の「電池切れ発信器表示」ボタンを押しても表示できます。

2 表示された番号の発信器の電池を交換する ☞ 24～26ページ

2段表示

発信器を登録した段に表示されます。



上下段の区別のない発信器は「上段」に表示されます。
☞ 76ページ「表示リスト」

3 電池を交換した発信器を押して、電池切れ表示灯が点灯しないことを確認する

メモ

- 電池切れが近い発信器の番号は、表示消去時に電池切れ表示灯とともに点滅し、電池切れをお知らせします。
- 番号が8コ表示され電池切れ表示灯が赤色点滅する場合は、表示されている番号のほかにも電池切れが近い発信器があります。もう一度「電池切れ発信器表示」ボタンを押すと、次の表示に切り替わります。

応用編

ワイヤレスサービスコールをより便利にお使いいただくための応用例を説明します。

■ 応用編のあらまし ☞ 51～52ページ

登録

■ 熱線センサー発信器を来客報知用に登録する ☞ 53ページ

■ 発信器を優先呼出用に登録する ☞ 54ページ

■ 発信器を優先呼出消去用に登録する ☞ 55ページ

■ 発信器を呼出順消去用に登録する ☞ 56ページ

■ 集中操作器を遠隔操作用に登録する ☞ 57ページ

■ スリー発信器を遠隔操作用に登録する ☞ 58ページ

■ 発信器を遠隔操作用に登録する ☞ 59ページ

使いかた

■ 来客を報知する ☞ 60～61ページ

■ 優先呼出表示について ☞ 62ページ

■ 副表示器について ☞ 63ページ

応用編のあらまし

ワイヤレスサービスコールをより便利にお使いいただくために、
下記のような機能があります。

機 能	使いかた	設定方法	登録方法
来客報知 *1	📄 60～61ページ	来客表示は 📄 全段表示 65～70ページ 📄 2段表示 71～76ページ	📄 53ページ
優先呼出 *2	📄 62ページ	📄 全段表示 65～70ページ 📄 2段表示 71～76ページ	📄 54ページ
優先呼出消去 *2	📄 62ページ		📄 55ページ
遠隔操作 *3	集中操作器の消去は 📄 42ページ	—————	📄 57～59ページ
発信器による 呼出順消去	📄 43ページ	—————	📄 56ページ
副表示器について	📄 63ページ	—————	—————

***1:来客報知** (来客を報知させるときに使う)

- お客様を熱線センサー発信器が検知すると、受信器から報知音が鳴ります。
報知音とともに受信器に表示を出すこともできます。

【来客報知用発信器】



***2:優先呼出・優先呼出消去** (特別なお客様や特別な場所からの呼出・消去に使う)

- 「優先呼出」とは、お客様やお誕生日祝いの方、またはトイレなど共用部からの呼出など、特別なお客様・場所の呼出用に割り当てた発信器からの呼出で、優先的に呼出表示します。この優先呼出番号を消去するには、「優先呼出消去」に登録した発信器から操作します。

【優先呼出用発信器・優先呼出消去用発信器】



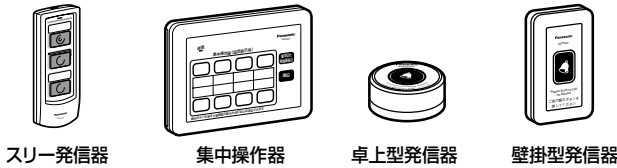
***3:遠隔操作** (報知音量や表示窓の明るさ、来客報知の入/切を遠隔操作)

- 「遠隔操作」とは、下記の機能設定を受信器の設定ボタンを使わずに、発信器や集中操作器、スリー発信器の押ボタンを押して、離れた場所から行う操作です。

音 量：受信器からの報知音の音量を調整する
明 る さ：受信器の表示窓の明るさを調整する
来客報知：来客報知するか、しないかを設定する
(熱線センサー発信器または外部接点入力機器設置時)

注：遠隔操作作用として登録した集中操作器やスリー発信器は
番号呼出用としては使用できません。

【遠隔操作用発信器】

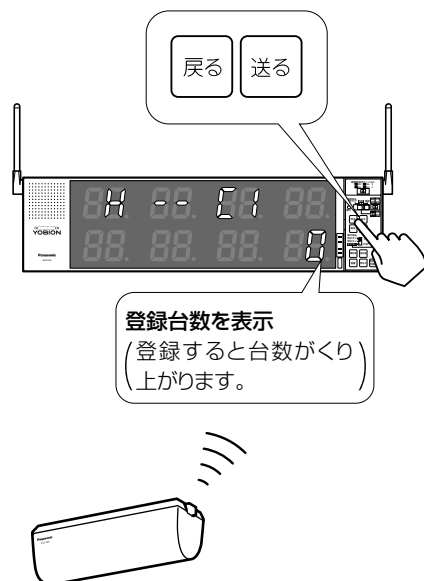


熱線センサー発信器を来客報知用に登録する

受信器のモード切替スイッチが[登録]側であることを確認してください。

- 1** 戻る 送る ボタンで
"H--C1"または"H--C2"を
表示させる

- 熱線センサー発信器は複数台使用
できますが、報知音を区別させたい
場合は、それぞれ別の番号(C1ま
たはC2)で登録してください。



- 2** 熱線センサー発信器を動作
させる

- ➡報知音が鳴り、熱線センサー発信
器が登録されます。

〈出荷時〉

報知音：H--C1「ポロロン」
H--C2「ピンポン」

- ※登録した後は、受信器のモード切替スイッチを[通常]側に戻すまでは、
熱線センサー発信器の電池を抜いておいてください。
(熱線センサー発信器が動作して再登録されるのを防ぐため)

登録操作がすべて完了したら受信器のモード切替スイッチを
[通常]側に戻してください。



メモ

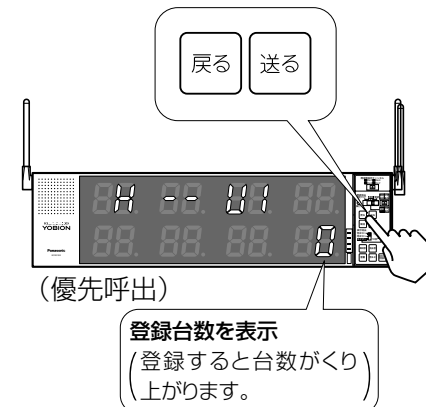
- 来客報知時の表示について 60～61ページ
- 熱線センサー発信器を番号表示用として使用する場合
31～32ページ

発信器を優先呼出用に登録する

受信器のモード切替スイッチが[登録]側であることを確認
してください。

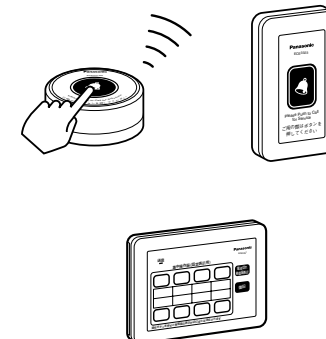
- 1** 戻る 送る ボタンで
"H--U1"～"H--U8"の
中から登録させたい番号を
表示させる

- 8種類まで登録できます。



- 2** 登録したい発信器あるいは
集中操作器の押ボタンを押
す

- ➡「プププ」音が鳴り、優先呼出用
に登録されます。



登録操作がすべて完了したら受信器のモード切替スイッチを
[通常]側に戻してください。



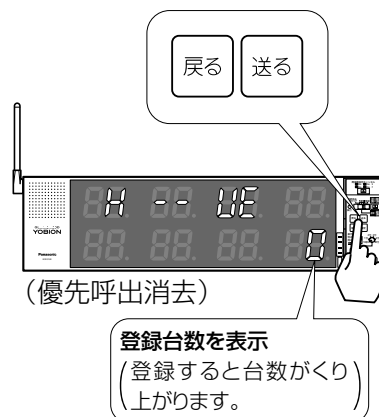
メモ

- 優先呼出時の表示について 62ページ
- U1～U8は優先呼出用番号です。
- "H--U1"(例)として登録しますが、呼出時は"U1"と表示されます。

発信器を優先呼出消去用に登録する

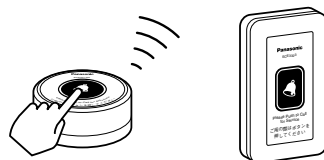
受信器のモード切替スイッチが[登録]側であることを確認してください。

- 1 **戻る** **送る** ボタンで
"H--UE"を表示させる



- 2 登録したい発信器の
押ボタンを押す

➡「ポーン」音が鳴り、優先呼出消去用に登録されます。



登録操作がすべて完了したら受信器のモード切替スイッチを[通常]側に戻してください。

メモ

- 遠隔操作用に登録した集中操作器でも、優先呼出消去できます。
➡ 57ページ

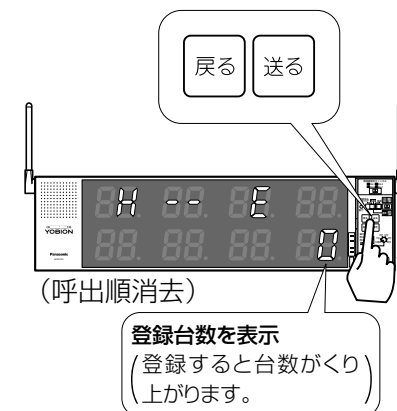
発信器を呼出順消去用に登録する

受信器のモード切替スイッチが[登録]側であることを確認してください。

- 1 **戻る** **送る** ボタンで
"H--E"を表示させる

2段表示

上段用への登録：1 H--E
下段用への登録：2 H--E



- 2 登録したい発信器の
押ボタンを押す

➡「ポーン」音が鳴り、呼出順消去用に登録されます。



登録操作がすべて完了したら受信器のモード切替スイッチを[通常]側に戻してください。

メモ

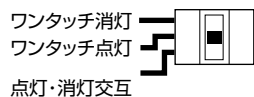
- 集中発信器、集中消去器の[呼出順消去]ボタン、および遠隔操作用に登録した集中操作器でも、呼出順消去ができます。
➡ 41～43ページ

集中操作器を遠隔操作作用に登録する

受信器のモード切替スイッチが[登録]側であることを確認してください。

1 集中操作器の動作切替スイッチを[ワンタッチ点灯]側にする

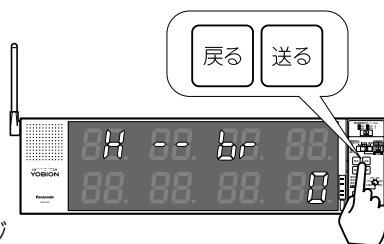
- 「ワンタッチ点灯」側にしないと、正しく登録できません。



(集中操作器 裏側)

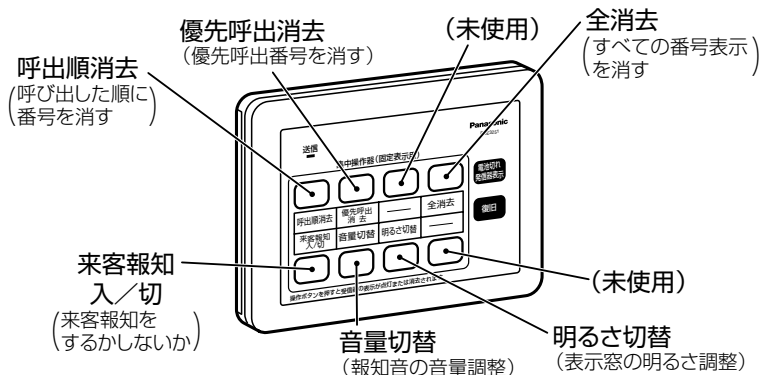
2 「戻る」 「送る」 ボタンで "H--CC" "H--vo" "H--br" のいずれかを表示させる

- 表示リスト
 全段表示 70ページ、2段表示 76ページ



3 集中操作器の呼出順消去ボタン(左上)を押す

- ➡「ポーン」と鳴り、約1秒間"H--OE"が表示され、以下のような機能が各操作ボタンに割り当てられます。(受信器右下に登録台数が表示されます。)



登録操作がすべて完了したら受信器のモード切替スイッチを[通常]側に戻してください。

メモ

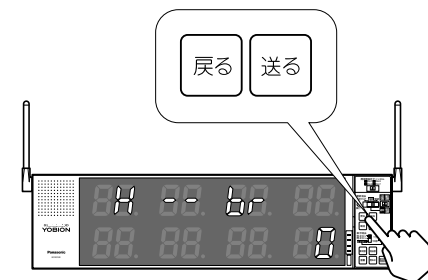
- 各ボタンの役割は固定です。変更はできません。
- 遠隔操作作用に登録した集中操作器を番号呼出用に登録することはできません。遠隔操作作用と番号呼出用の集中操作器は使い分けてください。
- 機能名を書いた遠隔操作表示ラベルを貼り付けてください。➡ 27ページ

スリー発信器を遠隔操作作用に登録する

受信器のモード切替スイッチが[登録]側であることを確認してください。

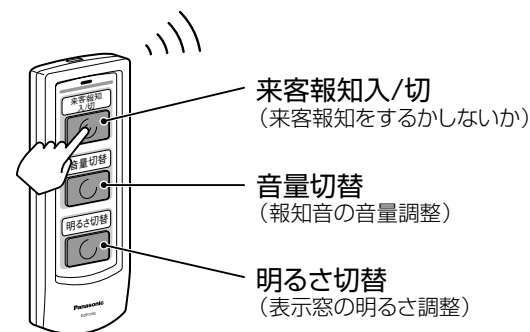
1 「戻る」 「送る」 ボタンで "H--CC" "H--vo" "H--br" のいずれかを表示させる

- 表示リスト
 全段表示 70ページ、2段表示 76ページ



2 スリー発信器の来客報知入/切ボタン(一番上)を押す

- ➡「ポーン」と鳴り、約1秒間"H--3E"が表示され、以下のような機能が各ボタンに割り当てられます。(受信器右下に登録台数が表示されます。)



登録操作がすべて完了したら受信器のモード切替スイッチを[通常]側に戻してください。

メモ

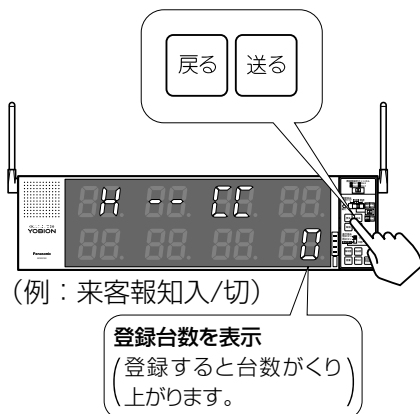
- 各ボタンの役割は固定です。変更はできません。
- 機能名を書いた遠隔操作表示ラベルを貼り付けてください。➡ 27ページ

発信器を遠隔操作作用に登録する

受信器のモード切替スイッチが「登録」側であることを確認してください。

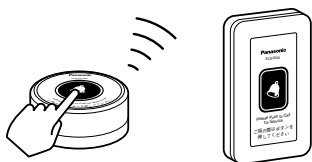
- 1 **戻る** **送る** ボタンで
来客報知入/切 "H--CC"
音量切替 "H--vo"
明るさ切替 "H--br"
のうち、登録させたい機能
を表示させる

- 表示リスト
➡ **全段表示** 70ページ、
2段表示 76ページ



- 2 登録したい発信器の
押ボタンを押す

➡「ポーン」音が鳴り、選んだ機能が
登録されます。



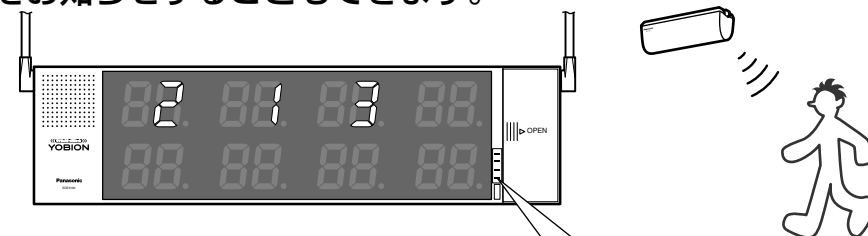
- 3 必要であれば手順 1、2 をくり返す

登録操作がすべて完了したら受信器のモード切替スイッチを
「通常」側に戻してください。

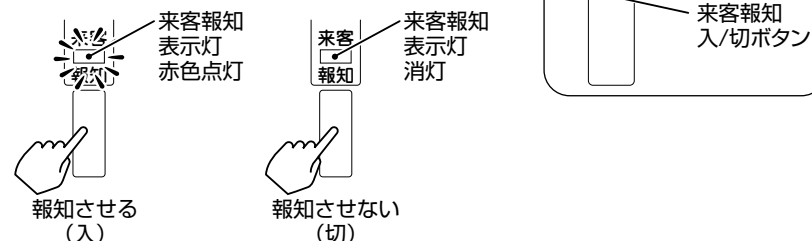
使いかた

来客を報知する

熱線センサー発信器を来客報知用に登録している場合、人を
検知すると報知音が鳴ります。また、接点入力により来客報
知をお知らせすることもできます。



- 熱線センサー発信器が来客を検知すると、
報知音が鳴り、来客報知表示灯が約5秒
間赤色点滅し、その後、赤色点灯します。
- 来客報知入/切ボタンで報知させるかど
うかを選ぶことができます。



- 報知音は来客センサー1が「ポロロン」、来客センサー2が「ピンポン (A)」、
外部接点入力が「ピンポン (B)」です。(出荷時)

メモ

- 報知音は変更できます。
➡ **全段表示** 65～70ページ **2段表示** 71～76ページ
- 来客を表示でも知らせることができます。➡ 61ページ
- 遠隔操作作用に登録した発信器でも来客報知の入/切を切り替えるこ
とができます。
集中操作器 ➡ 57ページ
スリー発信器 ➡ 58ページ
卓上型・壁掛型発信器 ➡ 59ページ
- 来客報知時に接点出力を出してチャイムなどを動作させることも
できます。➡ **全段表示** 65～70ページ、**2段表示** 71～76ページ

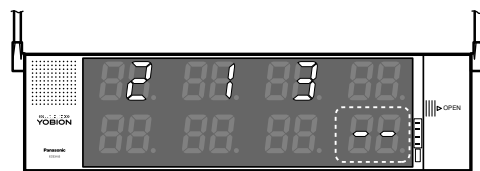
次ページに続く

来客を報知する (つづき)

来客表示

報知音とともに次のような表示を出すことができます。

- 表示させるには、機能設定で接点入力、来客1検知、および来客2検知設定の「表示有無」を「あり」に設定する必要があります。(出荷時は「なし」)
- ➡ **全段表示** 65～70ページ、**2段表示** 71～76ページ



来客表示エリア
(例: 来客センサー2)

➡ 表示は約5秒間で消えます。

来客センサー1 来客センサー2 外部接点入力

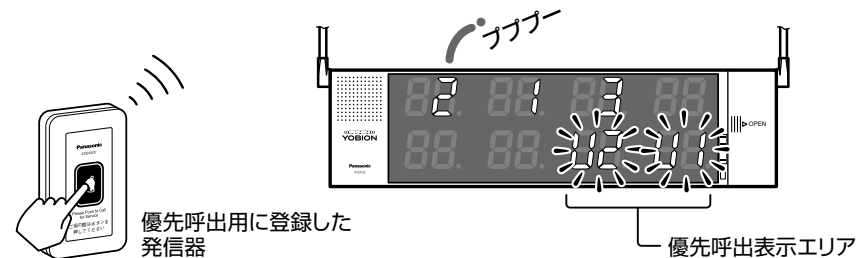
来客センサー1と
来客センサー2が
同時の場合 来客センサー1,
来客センサー2と
外部接点入力
同時の場合

メモ

- 来客表示エリアに番号表示があっても約5秒間割り込み表示されます。
- 優先呼出番号表示がある場合は、来客表示は表示されません。

優先呼出表示について

通常の呼出とは区別して、優先的に表示されます。



- ➡ 優先呼出番号 ("U1", "U2"...) が右下の優先呼出表示エリアに表示され (すでに表示があればその左) 消去するまで点滅をくり返します。
- ➡ 優先呼出番号を消去するには、優先呼出消去用発信器を操作します。

メモ

- 優先呼出が3コ以上ある場合は、右下に「優先フル表示」が点滅します。
(優先呼出は8コまで記憶でき、先順の2コが表示されます。)

番号表示にも未表示がある場合は右のように右下に「番号フル表示」が点滅します。



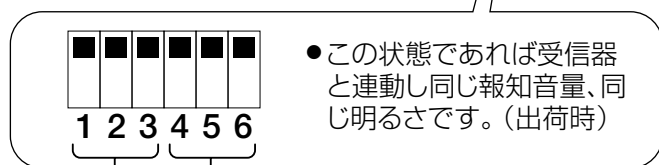
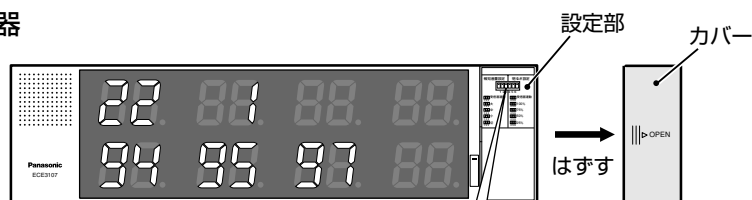
番号フル表示点滅 優先フル表示点滅

- 優先呼出時の報知音、消去音、消去方法は通常呼出と異なる設定にすることができます。➡ **全段表示** 65～70ページ、**2段表示** 71～76ページ

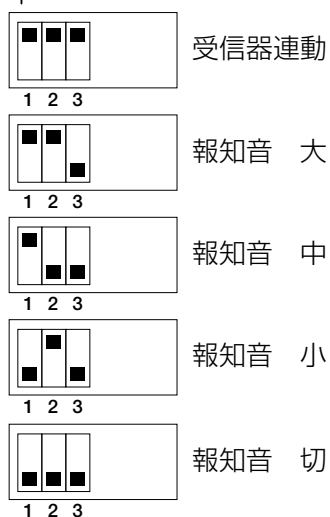
副表示器について

副表示器を2台まで接続することができます。受信器と同じ内容が表示/消去されますが、報知音量と表示明るさは副表示器で個別に設定することもできます。

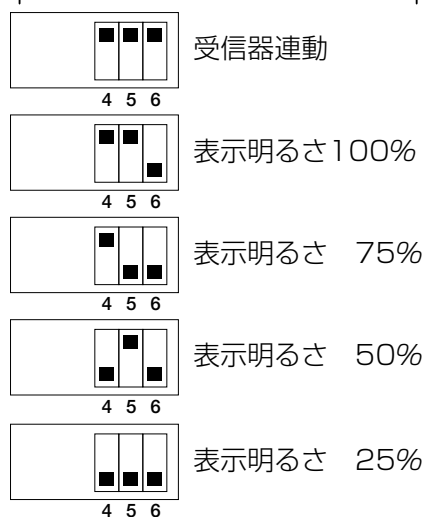
副表示器



〈報知音量〉



〈明るさ設定〉



機能設定

ワイヤレスサービスコールの機能をフルに活用するための、さまざまなくわしい設定ができます。全段表示(2段表示でない場合)と2段表示の場合で設定表示などが異なりますので、該当するページをお読みください。

- 2段表示設定について 23ページ

■全段表示の場合の機能設定 65～70ページ

■2段表示の場合の機能設定 71～76ページ

機能設定（全段表示）

受信器のさまざまな機能を設定できます。

- 設定部のカバーをはずしてください。

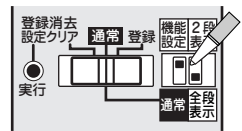


設定手順

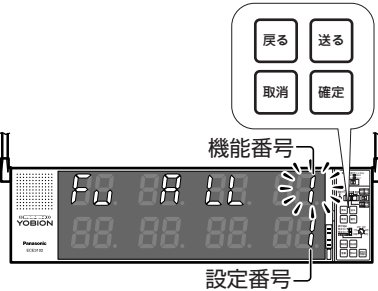
1 機能設定スイッチを「機能設定」側にする

- モード切替スイッチは「通常」側にしてください。

「機能設定」側：



2 「戻る」「送る」ボタンで設定する機能を選ぶ（表示窓右上）



機能番号	機 能 名	内 容
1	呼出鳴動回数	呼出時の報知音の鳴る回数を設定します。
2	表示順選択	表示窓に表示される順番のモードを設定します。
3	再呼出表示の有/無	同じ番号の発信器が2回以上押されたときに点滅を続けるかどうかを設定します。
4	新着呼出表示点滅の有/無	新しく呼出を受けた番号を点滅させるかどうかを設定します。
5	呼出時接点出力	発信器からの呼出時にチャイムなど別の機器を動作させる出力信号を出すかどうか、あるいは出す時間を設定します。
7	優先呼出設定	優先呼出時の報知音、消去音、接点出力、消去方法を設定します。
8	接点入力設定	接点入力があった際の報知音、表示有無、接点出力を設定します。
9	来客1検知設定	来客センサー1で来客検知時の報知音、表示有無、接点出力を設定します。
10	来客2検知設定	来客センサー2で来客検知時の報知音、表示有無、接点出力を設定します。

3 「確定」ボタンを押す

- ➡ 設定番号が点滅し、設定状態であることを示します。
- 中止する場合は「取消」ボタンを押してください。

4 「戻る」「送る」ボタンで選んだ機能を設定する

設定内容について 67～69ページ

- 中止する場合は「取消」ボタンを押してください。



5 「確定」ボタンを押す

- ➡ 設定番号の点滅が点灯に変わり、設定が確定されます。
- 必要であれば、他の機能についても手順 2～5 をくり返してください。

6 設定が終われば機能設定スイッチを「通常」側に戻す（）



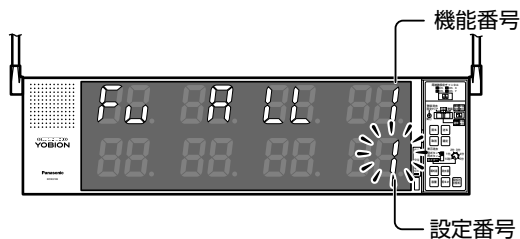
次ページに続く

詳細設定

機能設定（全段表示）（つづき）

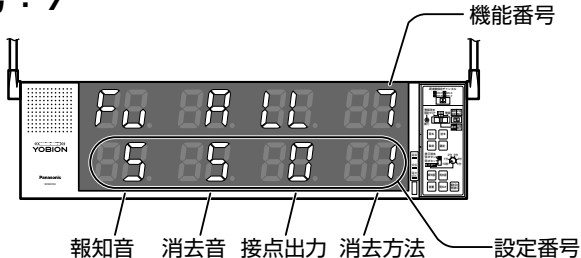
設定内容

■機能番号：1～5



機能番号	機 能 名	設 定 番 号
1	呼出鳴動回数	1：1回（出荷時） 3：3回
2	表示順選択	1：番号順 2：呼出順（出荷時）
3	再呼出表示の有/無	0：なし 1：あり（出荷時）
4	新着呼出表示点滅の有/無	0：なし 1：あり（出荷時）
5	呼出時接点出力	0：なし（出荷時） 1：約1秒 3：約3秒 99：表示連動 （受信器の表示窓に表示が出ている間、接点出力する）

■機能番号：7



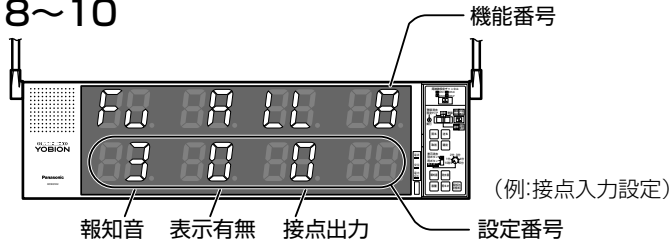
- **確定** ボタンを押すごとに、次の設定項目に移ります（設定中＝点滅）。
- 一番右の項目で **確定** ボタンを押すまでは他の項目も確定しません。

機能番号	機 能 名	設 定 番 号			
7	優先呼出設定	報知音	0：無音 1：ポーণ 2：ピンポンA 3：ピンポンB	4：ポロロン 5：ププー（出荷時） 6：メロディA 7：メロディB	
		消去音	0：無音 1：ポーণ 2：ピンポンA 3：ピンポンB	4：ポロロン 5：プー（出荷時） 6：メロディA 7：メロディB	
		接点出力	0：なし（出荷時） 1：1秒	3：3秒 99：表示連動	
		消去方法	1：別ボタン消去（出荷時） 2：同ボタン消去 31：タイマー消去（10秒） 32：タイマー消去（20秒） 33：タイマー消去（30秒） 34：タイマー消去（45秒）	35：タイマー消去（1分） 36：タイマー消去（2分） 37：タイマー消去（3分） 38：タイマー消去（4分） 39：タイマー消去（5分） 99：受信器と連動	

次ページに続く

機能設定（全段表示）（つづき）

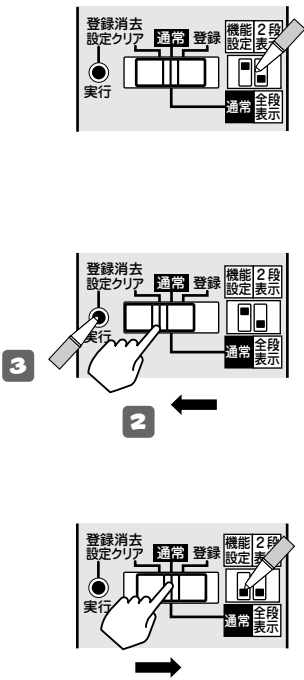
■機能番号：8～10



機能番号	機能名	設定番号	
8	接点入力設定	報知音	0: 無音 1: ポーン 2: ピンポンA (来客2検知出荷時) 3: ピンポンB (接点入力出荷時) 4: ポロロン (来客1検知出荷時)
9	来客1検知設定	表示有無	0: なし (出荷時) 1: あり
10	来客2検知設定	接点出力	0: なし (出荷時) 1: 1秒 3: 3秒 99: 表示連動

機能設定をすべて出荷状態に戻すには

- 1 機能設定スイッチを「機能設定」側にする
●モード切替スイッチは「通常」側にしてください。
「機能設定」側：
- 2 モード切替スイッチを「設定クリア」側にする
→表示窓に「Fu ALL CLEAR」と表示されます。
- 3 消去スイッチを押す（約1秒）
→「ブー」音が鳴り、機能設定がすべて出荷状態に戻ります。（「Fu ALL CLEAR」は表示されたままです。）
- 4 機能設定スイッチを「通常」側に戻し（）、モード切替スイッチを「通常」側に戻す



■表示リスト

- 「戻る」ボタンを押し続けると、この順番で表示窓に表示されます。ただし、登録消去時は、登録済みの発信器のみを表示します。また電池切れ発信器表示時は、電池切れが近い発信器のみを表示します。

	登録時	登録消去時	電池切れ表示時
番号呼出発信器（1～99）	H 1～99	F 1～99	1～99
集中発信器、集中消去器	H00	F00	00
呼出順消去用発信器	H--E	F--E	E
番号呼出用集中操作器		F--OC	OC
来客センサー1（熱線センサー発信器）	H--C1	F--C1	C1
来客センサー2（熱線センサー発信器）	H--C2	F--C2	C2
優先呼出用発信器（U1～U8）	H--U1～U8	F--U1～U8	U1～U8
優先呼出消去用発信器	H--UE	F--UE	UE
来客報知入/切用発信器	H--CC	F--CC	CC
音量切替用発信器	H--vo	F--vo	vo
明るさ切替用発信器	H--br	F--br	br
遠隔操作用集中操作器		F--OE	OE
遠隔操作用スリ―発信器		F--3E	3E
使用しません	H--H		
登録全消去		F ALL	

機能設定(2段表示)

受信器のさまざまな機能を設定
できます。

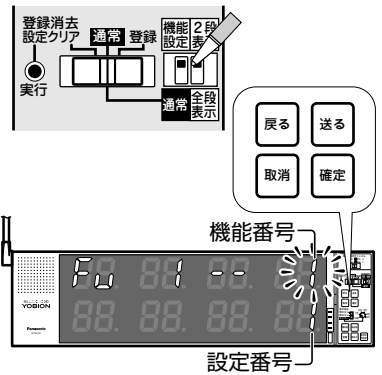
- 設定部のカバーをはずしてください。



設定手順

1 機能設定スイッチを「機能設定」側にする

- モード切替スイッチは「通常」側にしてください。
- 「機能設定」側：



2 「戻る」「送る」ボタンで設定する機能を選ぶ(表示窓右上)

機能番号	機 能 名	内 容
上 段 設 定	1-1 呼出鳴動回数	呼出時の報知音の鳴る回数を設定します。
	1-2 表示順選択	表示窓に表示される順番のモードを設定します。
	1-3 再呼出表示の有/無	同じ番号の発信器が2回以上押されたときに点滅を続けるかどうかを設定します。
	1-4 新着呼出表示点滅の有/無	新しく呼出を受けた番号を点滅させるかどうかを設定します。
	1-5 呼出時接点出力	発信器からの呼出時にチャイムなど別の機器を動作させる出力信号を出すかどうか、あるいは出す時間を設定します。
下 段 設 定	2-1 呼出鳴動回数	呼出時の報知音の鳴る回数を設定します。
	2-2 表示順選択	表示窓に表示される順番のモードを設定します。
	2-3 再呼出表示の有/無	同じ番号の発信器が2回以上押されたときに点滅を続けるかどうかを設定します。
	2-4 新着呼出表示点滅の有/無	新しく呼出を受けた番号を点滅させかどうかを設定します。
	2-5 呼出時接点出力	発信器からの呼出時にチャイムなど別の機器を動作させる出力信号を出すかどうか、あるいは出す時間を設定します。
	2-6 下段呼出設定	下段呼出時の報知音、消去音、消去方法を設定します。

7	優先呼出設定	優先呼出時の報知音、消去音、接点出力、消去方法を設定します。
8	接点入力設定	接点入力があった際の報知音、表示有無、接点出力を設定します。
9	来客1検知設定	来客センサー1で来客検知時の報知音、表示有無、接点出力を設定します。
10	来客2検知設定	来客センサー2で来客検知時の報知音、表示有無、接点出力を設定します。

3 確定 ボタンを押す

- ➡ 設定番号が点滅し、設定状態であることを示します。
- 中止する場合は「取消」ボタンを押してください。

4 「戻る」「送る」ボタンで選んだ機能を設定する

設定内容について 72～75ページ

- 中止する場合は「取消」ボタンを押してください。

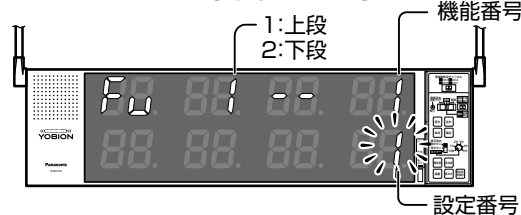
5 確定 ボタンを押す

- ➡ 設定番号の点滅が点灯に変わり、設定が確定されます。
- 必要であれば、他の機能についても手順 2～5 をくり返してください。

6 設定が終われば機能設定スイッチを「通常」側に戻す()

設定内容

■ 機能番号: 1-1～1-5 (上段表示)
2-1～2-5 (下段表示)



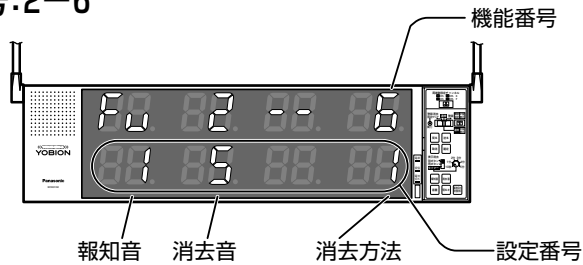
次ページに続く

詳細設定

機能設定(2段表示) (つづき)

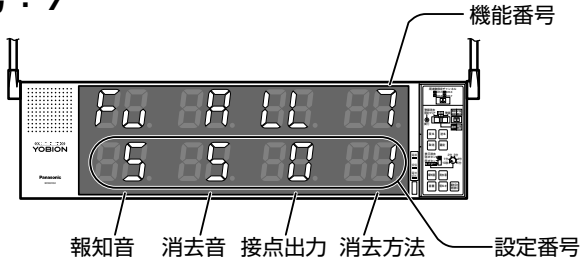
機能番号	機 能 名	設 定 番 号
1-1 2-1	呼出鳴動回数	1: 1回 (出荷時) 3: 3回
1-2 2-2	表示順選択	1: 番号順 2: 呼出順 (出荷時)
1-3 2-3	再呼出表示の有/無	0: なし 1: あり (出荷時)
1-4 2-4	新着呼出表示点滅の有/無	0: なし 1: あり (出荷時)
1-5 2-5	呼出時接点出力	0: なし (出荷時) 1: 約1秒 3: 約3秒 99: 表示連動 (受信器の表示窓に表示が出ている間、接点出力する)

■機能番号:2-6



機能番号	機 能 名	設 定 番 号
2-6	下段呼出設定	報知音 0: 無音 1: ポーン (出荷時) 2: ピンポンA 3: ピンポンB 4: ポロロン 5: ブー 6: メロディA 7: メロディB 99: 上段と連動
		消去音 0: 無音 1: ポーン 2: ピンポンA 3: ピンポンB 4: ポロロン 5: ブー (出荷時) 6: メロディA 7: メロディB 99: 上段と連動
		消去方法 1: 別ボタン消去 (出荷時) 2: 同ボタン消去 31: タイマー消去 (10秒) 32: タイマー消去 (20秒) 33: タイマー消去 (30秒) 34: タイマー消去 (45秒) 35: タイマー消去 (1分) 36: タイマー消去 (2分) 37: タイマー消去 (3分) 38: タイマー消去 (4分) 39: タイマー消去 (5分) 99: 上段と連動

■機能番号: 7



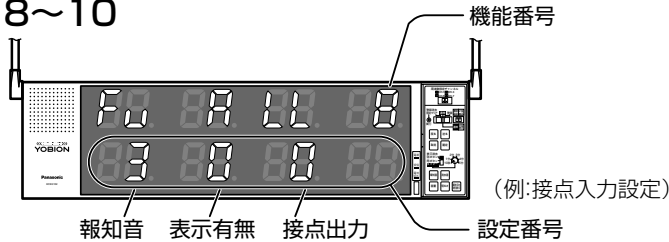
- **確定** ボタンを押すごとに、次の設定項目に移ります (設定中=点滅)。
- 一番右の項目で **確定** ボタンを押すまでは他の項目も確定しません。

機能番号	機 能 名	設 定 番 号
7	優先呼出設定	報知音 0: 無音 1: ポーン 2: ピンポンA 3: ピンポンB 4: ポロロン 5: プププー (出荷時) 6: メロディA 7: メロディB
		消去音 0: 無音 1: ポーン 2: ピンポンA 3: ピンポンB 4: ポロロン 5: ブー (出荷時) 6: メロディA 7: メロディB
		接点出力 0: なし (出荷時) 1: 1秒 3: 3秒 99: 表示連動
		消去方法 1: 別ボタン消去 (出荷時) 2: 同ボタン消去 31: タイマー消去 (10秒) 32: タイマー消去 (20秒) 33: タイマー消去 (30秒) 34: タイマー消去 (45秒) 35: タイマー消去 (1分) 36: タイマー消去 (2分) 37: タイマー消去 (3分) 38: タイマー消去 (4分) 39: タイマー消去 (5分) 99: 上段と連動

次ページに続く

機能設定(2段表示) (つづき)

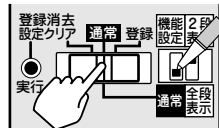
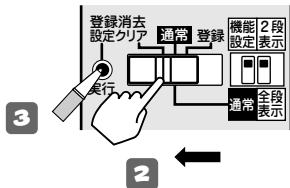
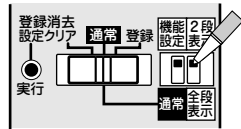
■機能番号：8～10



機能番号	機能名	設定番号	
8	接点入力設定	報知音	0: 無音 1: ポーン 2: ピンポンA (来客2検知出荷時) 3: ピンポンB (接点入力出荷時) 4: ポロロン (来客1検知出荷時) 5: ブー 6: メロディA 7: メロディB
9	来客1検知設定	表示有無	0: なし(出荷時) 1: あり
10	来客2検知設定	接点出力	0: なし(出荷時) 1: 1秒 3: 3秒 99: 表示連動

機能設定をすべて出荷状態に戻すには

- 1 機能設定スイッチを[機能設定]側にする
●モード切替スイッチは[通常]側にしてください。
「機能設定」側：
- 2 モード切替スイッチを[設定クリア]側にする
→表示窓に"Fu ALL CLEAR"と表示されます。
- 3 消去スイッチを押す(約1秒)
→「ブー」音が鳴り、機能設定がすべて出荷状態に戻ります。("Fu ALL CLEAR"は表示されたままです。)
- 4 機能設定スイッチを「通常」側に戻し()、モード切替スイッチを[通常]側に戻す



■表示リスト

●「戻る」ボタンを押し続けると、この順番で表示窓に表示されます。ただし、登録消去時は、登録済みの発信器のみを表示します。また電池切れ発信器表示時は、電池切れが近い発信器のみを表示します。

	登録時	登録消去時	電池切れ表示時
上段用	1 H -- 1 ~ 99	1 F -- 1 ~ 99	1 ~ 99 (上段に表示)
集中発信器、集中消去器	1 H -- 00	1 F -- 00	00 (上段に表示)
呼出順消去用発信器	1 H -- E	1 F -- E	E (上段に表示)
下段用	2 H -- 1 ~ 99	2 F -- 1 ~ 99	1 ~ 99 (下段に表示)
番号呼出用発信器 (1~99)	2 H -- 00	2 F -- 00	00 (下段に表示)
集中発信器、集中消去器	2 H -- E	2 F -- E	E (下段に表示)
呼出順消去用発信器		F -- 0C	0C (上段に表示)
番号呼出用集中操作器		F -- C1	C1 (上段に表示)
来客センサー1 (熱線センサー発信器)		F -- C2	C2 (上段に表示)
来客センサー2 (熱線センサー発信器)		F -- U1 ~ U8	U1 ~ U8 (上段に表示)
優先呼出用発信器 (U1~U8)		F -- UE	UE (上段に表示)
優先呼出消去用発信器		F -- CC	CC (上段に表示)
来客報知入/切用発信器		F -- vo	vo (上段に表示)
音量切替用発信器		F -- br	br (上段に表示)
明るさ切替用発信器		F -- OE	OE (上段に表示)
遠隔操作集中操作器		F -- 3E	3E (上段に表示)
遠隔操作スリー発信器			
使用しません	H -- H		
登録全消去		F ALL	

仕 様

■小電力型ワイヤレスサービスコール受信器 (マルチタイプ) (ECE3102K)

屋内用	電 源 電 圧	AC100V 50/60Hz
	消 費 電 力	全表示時 14W 待機時 3W
	使用周波数	CH.1 (426.0250) MHz CH.3 (426.0500) MHz CH.5 (426.0750) MHz CH.7 (426.1000) MHz } の1波 ※周波数設定 スイッチで 選択
	電波の到達距離	障害物のない場所での水平見通し距離約100m (周囲環境により異なります。)
	呼 出 音 量	70dB以上 (前方1m)
	音量調節幅	大ー小: 約24dB (3段階)
	音 色	「ポーン」「ピンポンA」「ピンポンB」「ポロロン」 「ブー (優先呼出以外)」「メロディA」 「メロディB」「無音」「ププブー (優先呼出)」
	使用温度範囲	0℃～+40℃
	寸 法	高さ:約120mm※ 幅:約460mm 奥行:約48mm (※アンテナを伸ばした状態/高さ:約215mm)
	質 量	約1.2kg

■小電力型ワイヤレスサービスコール卓上型発信器

(ECE3313W ECE3313H ECE3313A01)
(ECE3316W ECE3316H ECE3316A01)

屋内用	電 源 電 圧	3.0V
	動作電圧範囲	2.2V～3.5V
	消 費 電 流	動作時 50mA以下 待機時 10μA以下
	使用周波数	CH.1 (426.0250) MHz CH.3 (426.0500) MHz CH.5 (426.0750) MHz CH.7 (426.1000) MHz } の1波 ※周波数設定 スイッチで 選択
	送 信 出 力	1mW +20% -50%
	操 作 音 色	押しボタン押下時:「ピッ」音 長押し時:「ピー」音 (ECE3316品番のみ)
	電 源	単4形乾電池×2本
	電池寿命	約1年 (40回/1日) (マンガン乾電池使用時)
	使用温度範囲	0℃～+40℃
	寸 法	高さ: 約38mm 幅: 約φ80mm
	質 量	約100g (電池は含みません。)

■小電力型ワイヤレス発信器ファンシー

(ECE3342□□□ ECE3346□□□) (□は色番号=J01など)

■小電力型ワイヤレス発信器みやび

(ECE3332□□□ ECE3336□□□) (□は色番号=B02など)

屋内用	電 源 電 圧	3.0V
	動作電圧範囲	2.2V～3.5V
	消 費 電 流	動作時 50mA以下 待機時 10μA以下
	使用周波数	CH.1 (426.0250) MHz CH.3 (426.0500) MHz CH.5 (426.0750) MHz CH.7 (426.1000) MHz } の1波 ※周波数設定 スイッチで 選択
	送 信 出 力	1mW +20% -50%
	操 作 音 色	押しボタン押下時:「ピッ」音 長押し時:「ピー」音 (ECE3336・ECE3342品番のみ)
	電 源	単4形乾電池×2本
	電池寿命	約1年 (40回/1日) (マンガン乾電池使用時)
	使用温度範囲	0℃～+40℃
	寸 法	ファンシー/高さ:約36mm 幅:約93mm 奥行:約53mm みやび/高さ:約33mm 幅:約60mm 奥行:約60mm
	質 量	約60g (電池は含みません。)

■小電力型ワイヤレスサービスコール壁掛型発信器 (ECE3323)

屋内用	電 源 電 圧	3.0V
	動作電圧範囲	2.2V～3.5V
	消 費 電 流	動作時 50mA以下 待機時 10μA以下
	使用周波数	CH.1 (426.0250) MHz CH.3 (426.0500) MHz CH.5 (426.0750) MHz CH.7 (426.1000) MHz } の1波 ※周波数設定 スイッチで 選択
	送 信 出 力	1mW +20% -50%
	操 作 音 色	「ピッ」音
	電 源	単4形乾電池×2本
	電池寿命	約1年 (40回/1日) (マンガン乾電池使用時)
	使用温度範囲	0℃～+40℃
	寸 法	高さ: 約120mm 幅: 約70mm 奥行: 約21mm
	質 量	約100g (電池は含みません。)

仕 様 (つづき)

■ 小電力型ワイヤレスサービスコール卓上型発信器 (メニュースタンド付) (ECE3723W)

屋内用	電 源 電 圧	3.0V
	動作電圧範囲	2.2V～3.5V
	消 費 電 流	動作時 50mA以下 待機時 10μA以下
	使用周波数	CH.1 (426.0250) MHz CH.3 (426.0500) MHz CH.5 (426.0750) MHz CH.7 (426.1000) MHz } の1波 ※周波数設定 スイッチで 選択
	送 信 出 力	1mW $\begin{matrix} +20\% \\ -50\% \end{matrix}$
	操 作 音 色	「ピッ」音
	電 源	単4形乾電池×2本
	電 池 寿 命	約1年 (40回/1日) (マンガン乾電池使用時)
	使用温度範囲	0℃～+40℃
	寸 法	卓上型発信器 (取付時) / 高さ: 約47mm 幅: 約φ80mm メニュースタンド / 高さ: 約98mm 幅: 約165mm 奥行: 約143mm
	質 量	約320g (電池は含みません。)

■ 小電力型ワイヤレスサービスコール卓上型発信器 (ナプキンスタンド付) (ECE3713W)

屋内用	電 源 電 圧	3.0V
	動作電圧範囲	2.2V～3.5V
	消 費 電 流	動作時 50mA以下 待機時 10μA以下
	使用周波数	CH.1 (426.0250) MHz CH.3 (426.0500) MHz CH.5 (426.0750) MHz CH.7 (426.1000) MHz } の1波 ※周波数設定 スイッチで 選択
	送 信 出 力	1mW $\begin{matrix} +20\% \\ -50\% \end{matrix}$
	操 作 音 色	「ピッ」音
	電 源	単4形乾電池×2本
	電 池 寿 命	約1年 (40回/1日) (マンガン乾電池使用時)
	使用温度範囲	0℃～+40℃
	寸 法	卓上型発信器 (取付時) / 高さ: 約47mm 幅: 約φ80mm ナプキンスタンド / 高さ: 約99mm 幅: 約98mm 奥行: 約120mm
	質 量	約220g (電池は含みません。)

■ 小電力型ワイヤレスサービスコール集中発信器 (ECE3201K)

■ 小電力型ワイヤレスサービスコール集中消去器 (ECE3206)

■ 小電力型ワイヤレスサービスコール集中操作器 (固定表示タイプ用) (ECE3251)

屋内用	電 源 電 圧	3.0V
	動作電圧範囲	2.2V～3.5V
	消 費 電 流	動作時 100mA以下 待機時 10μA以下
	使用周波数	CH.1 (426.0250) MHz CH.3 (426.0500) MHz CH.5 (426.0750) MHz CH.7 (426.1000) MHz } の1波 ※周波数設定 スイッチで 選択
	送 信 出 力	1mW $\begin{matrix} +20\% \\ -50\% \end{matrix}$
	操 作 音 色	「ピッ」音
	電 源	単3形乾電池×2本
	電 池 寿 命	約1年 (300回/1日) (アルカリ乾電池使用時)
	使用温度範囲	0℃～+40℃
	寸 法	高さ: 約120mm 幅: 約162mm 奥行: 約22mm
	質 量	約200g (電池は含みません。)

■ 小電力型ワイヤレスサービスコール副表示器 (マルチタイプ) (ECE3107)

屋内用	電 源 電 圧	AC100V 50/60Hz
	消 費 電 流	全表示時 9W 待機時 2W
	使用周囲温度	0℃～+40℃
	寸 法	高さ: 約120mm 幅: 約460mm 奥行: 約48mm
	質 量	約1.2kg

■ 小電力型ワイヤレスコール スリー発信器 (ECE1703P)

屋内用	電 源 電 圧	3.0V
	動作電圧範囲	2.2V～3.5V
	消 費 電 流	動作時 50mA以下 待機時 10μA以下
	使用周波数	CH.1 (426.0250) MHz CH.3 (426.0500) MHz CH.5 (426.0750) MHz CH.7 (426.1000) MHz } の1波 ※周波数設定 スイッチで 選択
	送 信 出 力	1mW $\begin{matrix} +20\% \\ -50\% \end{matrix}$
	操 作 音 色	「ピッ」音
	電 源	単4形乾電池×2本
	電 池 寿 命	約1年(10回/1日)(マンガン乾電池使用時)
	使用温度範囲	0℃～+40℃
	寸 法	高さ:約170mm 幅:約60mm 奥行:約21mm (ホルダーに入れた状態/高さ:約172mm 幅:約65mm 奥行:約28mm)
	質 量	約110g (電池は含みません。)

■ 小電力型ワイヤレス用アンテナ (ECE3501)

屋内用	電 源 電 圧	DC12V
	消 費 電 流	100mA以下
	使用周波数	CH.1 (426.0250) MHz CH.3 (426.0500) MHz CH.5 (426.0750) MHz CH.7 (426.1000) MHz } の1波 ※受信器により 自動設定
	使用周囲温度	0℃～+40℃
	寸 法	高さ:約240mm※ 幅:約150mm 奥行:約31mm (※アンテナを伸ばした状態/高さ:約335mm)
	質 量	約500g

修理・使いかた・お手入れなどは…

■まず、お買い求め先へご相談ください。

お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名	
電 話 ()	—
お買い上げ日	年 月 日

修理を依頼されるときは…

別紙の「異常時の点検一覧表」でご確認のあと、直らないときは、まずサービスコール受信器の電源スイッチを「切」側にし、電源コードを使用している場合は電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

- 製品名 小電力型ワイヤレスサービスコール(マルチタイプ)
- 品 番
- 故障の状況 できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定にしたがって出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

修理料金は次の内容で構成されています。

【技術料】診断・修理・調整・点検などの費用

【部品代】部品および補助材料代

【出張料】技術者を派遣する費用

●補修用性能部品の保有期間 **7年**

当社は、この小電力型ワイヤレスサービスコールの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後7年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、お客様ご相談窓口(別紙一覧表参照)にご相談ください。

※「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などは、ホームページをご活用ください。
<http://panasonic.co.jp/cs/>